

令和5年度

教育に関する事務の管理及び執行状況の

点検・評価報告書

笠岡市教育委員会

目 次

I	教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価について	1
II	笠岡市教育行政における事務の管理及び執行状況の点検・評価項目	3
1	教育委員会の運営状況	5
2	教育委員会が管理・執行する事務	18
3	教育行政基本方針・基本施策	21
	《「学び」「育ち」をつなぎ、自立して共に生きる子どもを育てる学校教育の推進》	21
	基本施策1 (重点) 自立した子どもの育成	21
	(1) 自ら学びに向かい、課題を解決する力を育成するための教育活動の充実	21
	(2) 確かな学力を身に付けるための教育内容・方法の充実	22
	基本施策2 共生の心の育成	25
	(1) 豊かな人間性を育む教育の充実	25
	(2) 健康教育の充実と食育の推進	28
	(3) 学校体育、スポーツ活動の充実	30
	基本施策3 (重点) 郷土愛の育成	31
	基本施策4 (重点) 小中一貫教育及び学校規模適正化の実施	32
	基本施策5 学校施設等の整備	34
	《市民一人ひとりの豊かな学びにより地域力を高める生涯学習の推進》	36
	基本施策6 (重点) 市民誰もが学びたいときに学ぶことができる機会の提供	36
	基本施策7 生涯学習によるまちづくり	39
	基本施策8 (重点) 家庭・地域・学校と一体となった地域ぐるみの教育支援	40
	基本施策9 社会教育に取り組む市民や団体との協働と支援	42
	《幅広い世代が楽しめる文化・芸術の振興と担い手の育成》	44
	基本施策10 文化財の保護・活用	44
	基本施策11 竹喬美術館の活性化と館蔵品の充実	46
	基本施策12 芸術文化活動の振興・交流と担い手の育成	48
	基本施策13 (重点) カブトガニの保護とカブトガニ博物館の運営	51
	《誰でも気軽に親しめる生涯スポーツの振興》	54
	基本施策14 生涯スポーツの推進	54
	基本施策15 (重点) 競技スポーツの推進	55
	基本施策16 スポーツ施設の整備・充実と活用	57
III	評価委員の総合評価	58
IV	資料	65

I 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価について

1 目的

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（以下「地教行法」という。）第26条の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、教育委員会が点検・評価し、その結果を議会に報告するとともに市民に公表することが義務づけられています。

この点検・評価は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民に対する説明責任を果たしていくことを目的としています。

2 点検・評価の対象及び方法等

(1) 対象

- ① 教育委員会が管理・執行する事務
- ② 第7次笠岡市総合計画（後期基本計画 令和4～令和7年度）に掲げた「学校教育の充実」、「生涯学習の推進」、「スポーツの振興」及び「歴史の継承・文化の振興・カブトガニの保護と活用」の取組のうち主なもの
- ③ 「笠岡市教育振興基本計画」に掲げた主要施策の事務・事業のうち主なもの

(2) 方法

令和5年度における達成状況の把握を参考としながら、その取組状況について点検・評価を実施します。

① 基本施策

管理執行する事務及び教育振興基本計画に掲げた主要施策を記載

② 目標

点検・評価項目が目指す目標、その必要性や意図・ねらいなどを記載

③ 施策を推進する主な事業 重点事業・事務事業

基本施策における主要事業等の目的、令和5年度の主な実績及び今後の方向性、決算額を記載

④ 評価

目標に対する達成度や効果等について、評価を記載

<評価指標>

A：予定どおり目標が達成された。

B：概ね達成された。

C：やや目標に達成できなかった。

D：達成できなかった。努力を要する。

⑤ 課題と方向性

今後の課題・改善点及び方向性等について記載

(3) 学識経験者による知見の活用

点検・評価に当たっては、地教行法第26条第2項の規定により教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされたため、笠岡市教育委員会評価委員から意見を聴取しました。

< 笠岡市教育委員会評価委員 >

丹 生 裕 一	就実大学教育学部教授
三 谷 信 恵	元笠岡市教育委員
廣 井 正 己	元笠岡市立小学校長

(4) 報 告

当年度分の報告を議会（総務文教委員会協議会）で行います。

(5) 公 表

ホームページ及び教育委員会事務局等での閲覧ができます。

<参考>

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

II 笠岡市教育行政における事務の管理及び執行状況の点検・評価項目

1 教育委員会の運営状況

- (1) 教育委員会の会議の運営
教育委員会定例会及び臨時会の開催
- (2) 教育委員会の活動
総合教育会議への出席
- (3) 教育委員の研修等
研修会，その他各種行事・会議への出席
- (4) 学校及び教育施設への支援
教育委員による学校・教育施設訪問
教育委員と教職員の懇談会
教育委員による学校給食訪問

2 教育委員会が管理・執行する事務

- (1) 教育行政の運営に関する基本方針
令和5年度「笠岡市教育行政実施計画」を策定
- (2) 規則等の改廃
規則，要綱，規程等の制定・改正等
- (3) 議会の議決を経るべき議案
条例等の議案を審議
- (4) 教育関係予算
教育行政に関する予算を審議
- (5) 教育委員会の所管に属する学校，その他の教育機関の設置又は廃止
設置又は廃止を審議
- (6) 職員の任免に関する事
教育委員会事務局職員の人事異動，小・中学校長等の人事異動の内申について審議
- (7) 教科用図書の採択の決定に関する事
教科用図書の採択
- (8) 法令等で定められた諮問機関の委員の委嘱
諮問機関の委員の委嘱
- (9) 市重要文化財の指定及び解除
市重要文化財の指定及び解除を審議
- (10) 教育委員会の点検評価報告書の作成
教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価を実施し，報告書の作成，議会へ報告，公表

3 教育行政施策体系

基本理念	施策項目 (総合計画)	基本方針	基本施策
学ぶ楽しさ 輝く個性 生き抜く力	学校教育の 充実	「学び」「育ち」をつ なぎ自立して共に生 きる子どもを育てる 学校教育の推進	1 自立した子どもの育成
			2 共生の心の育成
			3 郷土愛の育成
			4 小中一貫教育及び学校規模適正化の実施
			5 学校施設等の整備
	生涯学習の 推進	市民一人ひとりの豊 かな学びにより地域 力を高める生涯学習 の推進	6 市民誰もが学びたいときに学ぶことができる機会の提 供
			7 生涯学習によるまちづくり
			8 家庭・地域・学校と一体となった地域ぐるみの教育支 援
	歴史の承 継・文化の 振興・カブ トガニの保 護と活用	幅広い世代が楽しめ る文化・芸術の振興 と担い手の育成	9 社会教育に取り組む市民や団体との協働と支援
			10 文化財の保護・活用
			11 竹喬美術館の活性化と館蔵品の充実
			12 芸術文化活動の振興・交流と担い手の育成
	スポーツの 振興	誰でも気軽に親しめ る生涯スポーツの振 興	13 カブトガニの保護とカブトガニ博物館の運営
			14 生涯スポーツの推進
			15 競技スポーツの推進
			16 スポーツ施設の整備・充実と活用

1 教育委員会の運営状況

教育長

(R6. 3. 31 現在)

職 名	氏 名	就任年月日	任 期
教 育 長	岡 田 達 也	H29. 8. 1	R 3. 4. 1~R 6. 3. 31

教育委員

(R6. 3. 31 現在)

職 名	氏 名	就任年月日	任 期
教育長職務代理者	藤 谷 幸 弘	H28. 12. 17	R 5. 12. 11~R 6. 12. 16
委 員	山 下 敬 広	H29. 10. 4	R 3. 10. 4~R 7. 10. 3
委 員	東 山 琴 子	R 2. 10. 1	R 2. 10. 1~R 6. 9. 30
委 員	西 崎 倫 子	R 5. 12. 11	R 5. 12. 11~R 9. 12. 10

(1) 教育委員会の会議の運営

教育委員会定例会 12回(前年12回)

教育委員会臨時会 3回(前年1回)

月 日	定例会又は臨時会	議 案	報 告	協議報告・その他
4月21日	定例会	1		9
5月19日	定例会	5	2	8
6月23日	定例会	4		10
7月21日	定例会		2	14
8月 1日	臨時会	1		
8月18日	定例会	2	1	13
9月29日	定例会	1	1	15
10月20日	定例会	1		15
10月26日	臨時会	1		
11月21日	定例会		1	12
12月22日	定例会	2	1	12
1月19日	定例会	2		15
2月16日	定例会	3		13
3月12日	臨時会	3		
3月22日	定例会	1		15
計	15回	27	8	151

会議については、定例会を毎月1回、年12回開催、臨時会は、必要に応じて3回開催し、計15回開催した。

会議の開催に際しては、議案資料の内容を事前に確認し、会の円滑な進行に努めた。

会議の公開等、開かれた委員会として保護者や地域住民に情報発信し、地域に求められる活動を進めている。なお、定例会での協議のほかに教育長を含む教育委員全員で、今日的・緊急的課題について、非公式協議や意見交換を随時行っている。

① 教育委員会議案・報告案件

月 日	議 案 ・ 報 告 案 件
4月21日	① 公民館運営審議会委員の委嘱について
5月19日	① 学校運営協議会委員の委嘱又は任命について ② 笠岡市社会教育委員の委嘱について ③ 公民館運営審議会委員の委嘱について ④ 笠岡市図書館協議会委員の委嘱について ⑤ 笠岡市学校給食センター運営委員会委員の委嘱及び任命について ⑥ 笠岡市立竹喬美術館協議会委員の委嘱について ⑦ 笠岡市立カブトガニ博物館運営委員会委員の委嘱について
6月23日	① 笠岡市幼稚園副食費助成金交付要綱の一部を改正する要綱について ② 笠岡市立幼稚園一時預かり保育事業実施要綱の一部を改正する要綱について ③ 公民館運営審議会委員の委嘱について ④ 笠岡市スポーツ推進審議会委員の委嘱について
7月21日	① 教育長の専決処分した感謝状の贈呈について ② 笠岡市地域学校協働活動推進員の委嘱について
8月 1日	① 令和6年度使用教科用図書（小学校）の採択について
8月18日	① 教育長の兼業について ② 公民館運営審議会委員の委嘱について ③ 教育長の専決処分した感謝状の贈呈について
9月29日	① 公民館運営審議会委員の委嘱について ② 教育長の専決処分した感謝状の贈呈について
10月20日	① 公民館運営審議会委員の委嘱について
10月26日	① 教職員の懲戒処分について
11月21日	① 教育長の専決処分した感謝状の贈呈について
12月22日	① 令和5年度末校長・教員等人事異動内申方針（案）について ② 地区公民館長の委嘱について ③ 教育長の職務代理者の選任について
1月19日	① 笠岡市社会教育委員の委嘱について ② 笠岡市教育委員会委員の辞職同意について

2月16日	① 笠岡市立幼稚園園則の一部を改正する規則について ② 地区公民館長の任命について ③ 公民館運営審議会委員の委嘱について
3月12日	① 小・中学校長等の人事異動の内申について ② 幼稚園長等の人事異動について ③ 感謝状の贈呈について
3月22日	① 技能労務職員の給与に関する規程の一部を改正する規程について

② 教育委員会協議報告・その他事項

月 日	協議報告事項
4月21日	① 金浦中ブロック小中一貫教育校の施設整備について ② 令和5年度校長・教頭・養護・事務一覧について ③ 令和5年度用幼小中在籍数について ④ 小中一貫教育推進計画並びに学校規模適正化計画について ⑤ 離島留学支援事業について ⑥ 第40回笠岡子どもフェスティバルについて ⑦ 笠岡市立竹喬美術館の行事について ⑧ 笠岡市立図書館のゴールデンウィークの行事について ⑨ 笠岡市立カブトガニ博物館の行事について
5月19日	① 小中一貫教育推進計画並びに学校規模適正化計画について ② 第19回笠岡市木山捷平文学選奨の作品募集について ③ 笠岡市立図書館の特別整理期間（蔵書点検）による休館について ④ 笠岡市立カブトガニ博物館の行事等について ⑤ 笠岡市立竹喬美術館名品集「うつりゆく自然を描く～小野竹喬の世界～」の刊行について ⑥ 令和5年度教育行政実施計画について ⑦ 令和5年度市町村教育委員会研究協議会について ⑧ 県立高等学校の再編計画について
6月23日	① 令和5年度一般会計6月補正予算（教育関係）について ② 令和5年6月笠岡市議会定例会質問・回答について ③ 小中一貫教育推進計画並びに学校規模適正化計画について ④ 笠岡市立図書館の行事等について ⑤ 笠岡市立竹喬美術館テーマ展について ⑥ 令和5年度学校等教育施設訪問の日程について ⑦ 日本プロ野球独立リーグ「四国アイランドリーグPLUS」公式戦について ⑧ 令和5年度「運動部活動方針」実践推進事業について

6月23日	<ul style="list-style-type: none"> ⑨ 令和5年度の教育行政実施計画について ⑩ 令和6年度使用教科書用図書（小学校）の採択について
7月21日	<ul style="list-style-type: none"> ① ひまわり認定こども園の建て替え整備について ② 小中一貫教育推進計画並びに学校規模適正化計画について ③ 令和6年度使用教科書用図書（小学校）の決定について ④ 「笠岡へもっと愛着を持ち隊」の実施について ⑤ 笠岡市立郷土館夏休み子ども歴史教室「めざせ！考古学者三千年前の模様をうつしとろう」の開催について ⑥ 笠岡市立竹喬美術館メンテナンス休館について ⑦ 笠岡市立竹喬美術館の夏休み期間中のイベントについて ⑧ 笠岡市立図書館の行事等について ⑨ 笠岡市立カブトガニ博物館の各種事業等について ⑩ 令和5年度笠岡市教育便覧について ⑪ 大井南仮設グラウンドについて ⑫ 岡山シーガルズとの連携協定について ⑬ 韓国・固城郡との交流について ⑭ 白石島英語留学について
8月18日	<ul style="list-style-type: none"> ① 白石島英語留学について ② 全国学力・学習状況調査の結果について ③ 貫読講堂について ④ 令和5年度笠岡市成人式について ⑤ 笠岡市立図書館の行事等について ⑥ 笠岡市立カブトガニ博物館の行事等について ⑦ 岡山シーガルズとの協定について ⑧ 認定こども園の園名決定について ⑨ 令和5年度笠岡市教育便覧について ⑩ 令和5年度学校施設等の訪問について ⑪ 令和5年度図書館要覧について ⑫ 行事のお知らせについて ⑬ 運動部活動の実践推進事業に伴う食育指導について
9月29日	<ul style="list-style-type: none"> ① 令和5年9月笠岡市議会定例会質問・回答について ② 令和5年度一般会計9月補正予算（教育関係）について ③ 学力向上に向けての取り組みについて ④ 学校規模適正化計画及び小中一貫教育推進計画について ⑤ 教職員の性的姿態撮影等処罰法違反による逮捕について ⑥ 第18回笠岡市青少年スピーチコンテストについて ⑦ 「笠岡市立郷土館企画展 真鍋島歴史展」について

9月29日	<ul style="list-style-type: none"> ⑧ 笠岡市立図書館の読書週間の行事等について ⑨ 令和4年度教育に関する事務の管理および執行状況の点検評価報告書(案)について ⑩ 令和5年度学校・教育施設訪問について ⑪ 笠岡市PTA連合会と笠岡市校園長会による令和6年度教育予算要望について ⑫ 絵画教室について ⑬ 今井幼稚園の廃園について ⑭ 教育委員の任命同意について ⑮ 教育長・市長・副市長の給料カットについて
10月20日	<ul style="list-style-type: none"> ① 学校規模適正化計画及び小中一貫教育推進計画について ② 笠岡市小中学校いきいきオープンスクールの開催について ③ 小学生英語デイキャンプについて ④ 第46回笠岡市青少年健全育成推進大会について ⑤ 第70回笠岡市文化祭・第46回笠岡市芸能祭・第48回笠岡市菊花展について ⑥ 令和5年度森田思軒顕彰講演会について ⑦ 笠岡市立カブトガニ博物館の行事等について ⑧ 笠岡市立竹喬美術館の行事等について ⑨ 第18回べいふぁーむ駅伝大会について ⑩ ファジアーノ岡山練習場整備費補助金交付要綱について ⑪ 食育の状況及び残食について ⑫ ジモト愛アワードについて ⑬ 惣路先生感謝のお茶会及び感謝状贈呈式の開催について ⑭ 講演会「栗谷川虹先生と関藤藤陰」について ⑮ 令和5年度岡山県市町村教育委員会研修会について
11月21日	<ul style="list-style-type: none"> ① 笠岡市小中学校いきいきオープンスクールの実施状況について ② 第19回木山捷平文学選奨作品募集結果について ③ 笠岡市中央公民館令和5年度まなびの発表会「集まれ・つながれ・学びの輪」の開催について ④ 笠岡市立図書館移動図書館車「新カブトガニ号」のデザインのアンケート実施について ⑤ 笠岡市立図書館への国際ソロプチミスト笠岡の寄附について ⑥ 学校規模適正化計画及び小中一貫教育推進計画について ⑦ カブトガニ駅伝大会について ⑧ 令和6年度教育委員会定例会日程について

11月21日	<ul style="list-style-type: none"> ⑨ 令和4年度教育に関する事務の管理および執行状況の点検評価報告書について ⑩ 学校給食の残食状況について ⑪ 令和5年度の卒業式について ⑫ 登録有形文化財建造物の登録について
12月22日	<ul style="list-style-type: none"> ① 令和5年12月笠岡市議会定例会質問回答について ② 令和5年度一般会計12月補正予算（教育関係）について ③ 学校規模適正化計画及び小中一貫教育推進計画について ④ 令和5年度笠岡市成人式の開催について ⑤ 笠岡市立郷土館出張展示「笠岡の偉人・先人展」の開催について，「同時開催「笠岡市児童生徒美術展」について ⑥ 令和5年度笠岡市民大学教養講座の開催について ⑦ 笠岡市立図書館移動図書館「新カブトガニ号」デザインの進捗状況について ⑧ 生徒指導案件について ⑨ 教職員の不祥事について ⑩ 体育施設条例の一部改正について ⑪ 企業版ふるさと納税寄附について ⑫ 卒業式の出席予定者について
1月19日	<ul style="list-style-type: none"> ① 令和5年度卒業式及び令和6年度始業式等の日程について ② 令和6年度幼稚園・小学校・中学校の園児・児童生徒数見込みについて ③ 令和5年度全国体力・運動能力・運動習慣等調査結果について ④ 第36回笠岡市人権文化祭について ⑤ 令和5年度笠岡市成人式の開催結果について ⑥ 第35回笠岡市生涯学習フェスティバルの開催について ⑦ 笠岡市立竹喬美術館館長の採用について ⑧ 第3次笠岡市子ども読書活動推進計画策定に向けたアンケートの実施について ⑨ 笠岡市立図書館の臨時休館について ⑩ 笠岡市立図書館の読書バリアフリー化について ⑪ 笠岡市立カブトガニ博物館令和5年度特別陳列展「IRON FOS SILS」の開催について ⑫ 第2次笠岡市スポーツ推進基本計画の見直しについて ⑬ 令和5年度学校別残食率について ⑭ 小中一貫教育校の整備検討委員会について ⑮ 冊子「高梁川」の配付について

2月16日	<ul style="list-style-type: none"> ① 金浦みらい学園の施設整備について ② 児童生徒の視力について ③ 令和4年度笠岡市小中学校におけるいじめ及び長欠・不登校等の状況について ④ 令和5年度卒業式の祝辞について ⑤ 第19回笠岡市木山捷平文学選奨表彰式の開催について ⑥ 第35回笠岡市生涯学習フェスティバルの開催結果について ⑦ 笠岡市立竹喬美術館テーマ展「国画創作協会の画家たち—大正7年, 官展に反旗を翻した画家たちの魂のさげび—」の開催について ⑧ 笠岡市立図書館講演会「窪田次郎と備中」の開催について ⑨ 笠岡市立カブトガニ博物館「令和5年度星を観る会」の開催について ⑩ 第27回べいふあーむ笠岡マラソンについて ⑪ 令和6年度笠岡市一般会計当初予算について ⑫ 「わたしの健康」の廃止について ⑬ 卒業式について
3月22日	<ul style="list-style-type: none"> ① 令和6年3月笠岡市議会定例会質問回答について ② 令和5年度笠岡市一般会計3月補正予算（教育関係）について ③ 金浦みらい学園の施設整備について ④ 令和5年度全国体力・運動能力・運動習慣等調査結果について ⑤ 令和5年度小中一貫教育に関するアンケート調査結果について ⑥ 笠岡市立図書館の土曜日閉館時間の変更について ⑦ 第2次笠岡市スポーツ推進基本計画の見直しについて ⑧ 令和6年度給食費について ⑨ 小野竹喬筆「波切村」の重要文化財（美術工芸品）指定の決定について ⑩ 学校給食週間の残食率について ⑪ 卒業式・入学式等の予定について ⑫ 笠岡市立竹喬美術館館長の内定について ⑬ 陶山公民館の主事内定について ⑭ 井笠鉄道記念館まつりにについて ⑮ 大井南グラウンドの体育施設条例について

(2) 教育委員会の活動

<市長との意見交換>

総合教育会議において、生徒指導案件、教職員の不祥事、学校規模適正化計画及び小中一貫教育推進計画について市長と教育委員との意見交換を行った。

月 日	場 所	内 容
1月11日	市長室	生徒指導案件、教職員の不祥事、学校規模適正化計画及び小中一貫教育推進計画

<市議会への出席>

5月臨時会	2日間
6月定例会	6日間
7月臨時会	2日間
9月定例会	7日間
12月定例会	6日間
3月定例会	7日間
総務文教委員会・協議会	13回

(3) 教育委員の研修等

岡山県都市教育委員会教育長協議会、教育長連絡会議等へ参加し、直面している課題や今後の取組について研修した。

月 日	会議・研修会等	場 所
4月25日	令和5年度教育問題懇談会	オンライン
5月 8日	岡山県都市教育委員会教育長協議会第1回定例会	津山市立図書館
6月29日	令和5年度市町村教育委員会研修協議会(前期)	オンライン
7月19日	令和5年度7月期教育長連絡会議	ピュアリティまきび
8月 4日	岡山県都市教育委員会教育長協議会臨時会	岡山市
8月23日	ハラスメント防止研修	笠岡市役所
10月19日	令和5年度中国地区都市教育長定期総会及び研究協議会	サン・ピーチ OKAYAMA
10月24日	令和5年度10月期教育長連絡会議	サン・ピーチ OKAYAMA
11月24日	令和5年度市町村教育委員会研修協議会	オンライン
12月21日	令和5年度市町村教育委員会研修協議会(後期)	オンライン
2月 1日	都市教育委員会教育長協議会	米子市

○その他各種行事・会議への出席等

月 日	行 事 等	場 所
4月 3日	辞令交付式	笠岡市中央公民館
4月 5日	共励会(藤井・坂本音一育英会)	笠岡市保健センター
4月17日	校 園 長 会	教育委員会会議室
4月20日	藤井皓哉選手後援会発起人会	笠岡グランドホテル
4月23日	JBMXF 岡山大会	太陽の広場
4月24日	笠岡市公民館協議会総会	笠岡市中央公民館
4月25日	固城郡の訪問団交流イベント	新吉中学校
	姉妹都市協定締結記念式典	笠岡市民会館
4月28日	笠岡市行政協力委員長・副委員長会議	笠岡市保健センター
4月29日	笠岡子どもフェスティバル	笠岡総合スポーツ公園
5月 2日	笠岡市婦人協議会総会	サンライフ笠岡
5月 5日	笠岡市少年野球フェスティバル 2023	笠岡総合スポーツ公園
5月 7日	虚心忌(小野竹喬命日式典)	竹喬美術館
5月10日	令和5年度教科書採択第1回地区協議会	井原市役所
5月12日	教頭会	教育委員会会議室
5月13日	笠岡市立小学校運動会	市内各小学校
5月20日		
5月21日	笠岡市スポーツ協会表彰式及び総会	笠岡市民会館
5月23日	暴力追放推進連合会総会	笠岡警察署
5月25日	笠岡地区少年婦人防火委員会	笠岡地区消防組合
5月26日	笠岡市総合教育相談支援センター指導員 連絡協議会総会	笠岡市中央公民館
	県議との意見交換会	笠岡市役所
5月28日	第41回笠岡市さつき・新緑展表彰式	笠岡市民会館
5月30日	藤井育英会理事会	教育委員会会議室
	坂本音一育英会理事会	教育委員会会議室
5月31日	笠岡市文化・スポーツ振興財団理事会	笠岡市役所
6月 3日	カブトガニ保護啓発運動	カブトガニ博物館ほか
6月10日	笠岡市戦没者追悼式	笠岡市民会館
6月15日	坂本音一育英会評議員会	笠岡市役所
	笠岡市文化・スポーツ振興財団評議員会	笠岡市役所
6月19日	岡山県広域特別補導協議会笠岡支部総会	笠岡市中央公民館
6月26日	笠岡市青少年問題協議会	教育委員会会議室

6月27日	笠岡警察署協議会 第2回定例会	笠岡警察署
	学校給食センター運営委員会	学校給食センター
6月30日	カブトガニ博物館運営委員会	教育委員会会議室
7月 3日	辞令交付式	笠岡市役所
	笠岡市青少年健全育成連絡協議会総会	教育委員会会議室
7月 4日	市内高等学校長との意見交換会	市長室
7月 5日	第1回笠岡市スポーツ推進審議会	笠岡総合体育館
7月 6日	第3回笠岡市福祉施策審議会	笠岡市民会館
7月10日	教科書採択第2回地区協議会	矢掛町役場
7月11日	校園長会	教育委員会会議室
7月12日	青少年健全育成街頭キャンペーン	笠岡駅前
7月13日	第1回竹喬美術館協議会	笠岡市民会館
7月14日	社会を明るくする運動笠岡市推進大会	笠岡市保健センター
7月15日	防災シンポジウム	笠岡市保健センター
7月18日	笠岡地区学校警察補導連絡協議会総会	笠岡警察署
7月21日	第1回笠岡市要保護児童対策地域協議会代表者会議	サンライフ笠岡
7月25日	教科書採択第3回地区協議会	笠岡市民会館
7月26日	笠岡市医療懇談会	笠岡市民会館
7月27日	日本遺産協議会総会	小豆島
7月28日	笠岡市交通安全対策協議会総会	市民活動支援センター
7月30日	四国アイランドリーグプラス公式戦	どんぐり球場
8月 1日	韓国固城郡派遣生徒団結式	笠岡市役所
	笠岡市手をつなぐ親の会総会	笠岡市民会館
8月 2日	園長・所長会	教育委員会会議室
8月 4日	市内県立高等学校長との意見交換会	市長室
8月 6日	原爆死没者鎮魂式	笠岡市中央公民館
8月 7日～ 8月11日	韓国固城郡訪問	韓国固城郡
8月 9日	笠岡市施策評価会議	笠岡市役所
8月15日	共励会(藤井・坂本音一育英会)及び墓参	教育委員会会議室ほか
8月17日	校園長会	教育委員会会議室
8月21日	笠岡市行政協力委員長・副委員長会議	笠岡市中央公民館
	笠岡市図書館協議会	笠岡市立図書館
8月22日	子ども・子育て推進会議	笠岡市民会館
8月26日	PTA連合会研修会	笠岡市民会館

8月28日	笠岡市文化・スポーツ振興財団理事会	笠岡市中央公民館
8月29日	笠岡市PTA連合会・校園長会予算要望	笠岡市役所
8月30日	笠岡市総合教育相談支援センター運営委員会	総合教育相談支援センター
9月1日	笠岡市施策評価答申	市長室
	韓国固城郡訪問団歓迎会	笠岡市内
9月2日	韓国固城郡派遣事業報告会	笠岡市中央公民館
9月5日	臨時校長会	教育委員会会議室
9月11日	臨時校長会	教育委員会会議室
9月15日	笠岡市文化・スポーツ振興財団評議員会	笠岡市役所
9月23日	秋の交通安全市民運動推進大会	笠岡自動車学校
9月27日	校園長会	教育委員会会議室
10月2日	笠岡市青少年健全育成連絡協議会役員会	教育委員会会議室
10月3日	笠岡警察署協議会	笠岡警察署
10月17日	陸上記録会	笠岡市陸上競技場
10月18日	学校法人淳和学園創立百周年記念式典・祝賀会	笠岡市民会館ほか
10月19日 ～11月2日	いきいきオープンスクール	市内小中学校
10月22日	第18回べいふあーむ駅伝大会	笠岡市陸上競技場
10月25日	校園長会	教育委員会会議室
10月26日	神内小学校創立150周年記念式典	神内小学校
	第4回笠岡市福祉施策審議会	笠岡市民会館
10月27日	神島外小学校研究発表会（全国へき地教育研究大会中間発表会）	神島外小学校
11月3日	笠岡市功労表彰表彰式	笠岡グランドホテル
11月4日	コタバル市サッカー交流大会	笠岡市陸上競技場
11月5日	第18回笠岡市青少年スピーチコンテスト	笠岡市中央公民館
11月8日	青少年健全育成街頭キャンペーン	笠岡駅前
11月11日	第64回笠岡市児童生徒音楽発表会	笠岡市民会館
	森田思軒顕彰講演会	笠岡市立図書館
11月12日	笠岡市防災訓練	小北中学校ほか
11月17日	笠岡市行政協力委員長・副委員長会議	笠岡市保健センター
11月21日	第2回竹喬美術館協議会	竹喬美術館
11月22日	山陽高等学校100周年記念式典	山陽高等学校
11月26日	笠岡市青少年健全育成推進大会	笠岡市中央公民館

1 1月 26日	祝新山小学校創立150周年・新山公民館まつり	新山小学校
1 2月 11日	辞令交付式	市長室
1 2月 14日	校園長会	教育委員会会議室
1 2月 15日	笠岡市文化・スポーツ振興財団評議員会	笠岡市役所
1 2月 17日	第37回カブトガニ駅伝大会	かさおか太陽の広場
1 2月 26日	文化財保護委員会	笠岡市役所
1月 7日	令和5年度成人式	笠岡市民会館
1月 11日	第2回笠岡市スポーツ推進審議会	笠岡総合体育館
1月 13日	日本遺産シンポジウム	丸亀市
1月 20日	第45回笠岡市児童生徒美術展 笠岡の偉人・先人展	笠岡市民会館
1月 22日	金浦中学校ブロック小中一貫教育校整備 検討委員会	教育委員会会議室
	笠岡市人権教育推進委員会	笠岡市中央公民館
1月 24日	校園長会	教育委員会会議室
1月 30日	笠岡警察署協議会	笠岡警察署
2月 1日	第5回笠岡市福祉施策審議会	笠岡市民会館
2月 3日	P T A連合会主催「市長と語る会」	笠岡小学校
2月 4日	第27回べいふあーむ笠岡マラソン大会	笠岡市陸上競技場
2月 8日	学校給食センター運営委員会	学校給食センター
2月 11日	第35回生涯学習フェスティバル	笠岡市民会館
2月 14日	笠岡市文化・スポーツ振興財団理事会	笠岡市役所
2月 16日	笠岡市中央公民館運営審議会	笠岡市中央公民館
	金浦中学校ブロック小中一貫教育校整備 検討委員会	教育委員会会議室
2月 17日	笠岡市人権文化祭	吉田小学校ほか
2月 18日	第46回笠岡市美術展	笠岡市民会館
2月 19日	笠岡市青少年問題協議会	教育委員会会議室
2月 21日	藤井育英会理事会	笠岡市中央公民館
	坂本音一育英会理事会	笠岡市中央公民館
	第2回笠岡市要保護児童対策地域協議会代 表者会議	サンライフ笠岡
2月 22日	校園長会	教育委員会会議室
	明るい選挙推進協議会常任推進委員会	笠岡市役所
2月 24日	笠岡市名誉市民推戴式	笠岡グランドホテル

2月29日	日本共産党笠岡市委員会懇談会	笠岡市役所
3月3日	第19回笠岡市木山捷平文学選奨表彰式	笠岡市保健センター
3月9日～ 3月10日	岡山シーガルズ公式戦	笠岡市総合体育館
3月11日	笠岡市立中学校卒業式	市内中学校
3月14日	笠岡市立幼稚園卒業式	市内幼稚園
	笠岡市文化・スポーツ振興財団評議員会	教育委員会会議室
3月17日	フリースクール育海卒業式	笠岡市飛島
3月18日	善行表彰表彰式	市長室
3月19日	笠岡市立小学校卒業式	市内小学校
	坂本音一育英会評議員会	教育委員会会議室
3月25日	日本遺産に係る協議会総会	オンライン
	部活動地域移行検討委員会	教育委員会会議室
	子ども・子育て推進会議	サンライフ
3月26日	笠岡市社会教育委員会	教育委員会会議室
3月27日	笠岡市民会館運営委員会	笠岡市民会館
3月29日	退職者辞令交付式	笠岡市中央公民館
	金浦中学校ブロック小中一貫教育校整備 検討委員会	教育委員会会議室

(4) 学校及び教育施設への支援

○教育委員による学校・教育施設訪問

小学校2校，教育施設等4施設を訪問した。(前年度 小学校2校，教育施設2施設)

月 日	学 校 等	教育施設等
7月21日	—	育海，飛島歴史文化展示室
10月20日	笠岡小学校，金浦小学校	国登録記念物 清水氏庭園 郷土館

各学校における教育目標，指導の重点を確認し，授業や交流活動，ICTの活用状況，施設整備状況，地域との連携，小中一貫教育等の実情を視察，現在抱える課題等について意見交換した。特に笠岡小学校においては，今井小学校との統合後の様子や状況等について，情報共有を行った。教育施設についても，事業内容や運営状況，施設整備状況等を視察し，今後の課題について懇談した。また，国登録記念物の指定を受けた清水氏庭園について，学芸員の説明を受けながら見学させていただいた。

学校開放の時期等を活用して，随時，児童生徒の活動状況を見たり，授業を参観して課題の把握に努めている。

○教育委員による学校給食訪問

学校訪問に併せ、食育の推進・地産地消の推進を行っている学校給食センター（共同調理場）の学校給食を試食した。

月 日	学 校 等	調理施設
10月20日	笠岡市立金浦小学校	学校給食センター

2 教育委員会が管理・執行する事務

(1) 教育行政の運営に関する基本方針

令和4年度に策定した「第3期笠岡市教育振興基本計画」の基本理念である“学ぶ楽しさ、輝く個性、生き抜く力”に基づき、「学び」「育ち」をつなぎ、自立して共に生きる子どもを育てる学校教育の推進」5施策、「市民一人ひとりの豊かな学びにより地域力を高める生涯学習の推進」4施策、「幅広い世代が楽しめる文化・芸術の振興と担い手の育成」4施策、「だれでも気軽に楽しめる生涯スポーツの振興」3施策の各教育行政基本施策を推進した。

(2) 規則等の改廃

規則，規程，要綱の改正を行った。

- ①笠岡市幼稚園副食費助成金交付要綱の一部を改正する要綱について
- ②笠岡市立幼稚園一時預かり保育事業実施要綱の一部を改正する要綱について
- ③笠岡市立幼稚園園則の一部を改正する規則について
- ④技能労務職員の給与に関する規程の一部を改正する規程について

(3) 教育関係予算

教育行政に関する令和6年度当初及び令和5年度補正予算を審議した。

(4) 教育委員会の所管に属する学校，その他の教育機関の設置又は廃止

今井幼稚園，笠岡幼稚園，金浦幼稚園，横江幼稚園，陶山幼稚園，尾坂幼稚園，大島幼稚園，大井幼稚園 を廃止した。

(5) 職員の任免に関すること

教育委員会事務局職員の人事異動，小・中学校長等の人事異動の内申，幼稚園長等の人事異動，地区公民館長の任命について審議した。

(6) 教科用図書の採択の決定に関すること

小学校全科目

(7) 法令等で定められた諮問機関の委員の委嘱

公民館運営審議会委員，学校運営協議会委員，笠岡市社会教育委員，笠岡市図書館協議会委員，笠岡市学校給食センター運営委員会委員，笠岡市立竹喬美術館協議会委員，笠岡市立カブトガニ博物館運営委員会委員，笠岡市スポーツ推進審議会委員，笠岡市地域学校協働活動推進員 を委嘱した。

(8) 市重要文化財の指定及び解除

指定及び解除はなかった。

(9) 教育委員会の点検評価報告書の作成

令和4年度の教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価を実施し，報告書の作成を行った。

評 価

- 学校への施設訪問については，コロナが5類となったことから，令和5年度は2回の訪問を実施した。令和5年4月に今井小学校と統合した笠岡小学校の児童の様子や授業状況，金浦小学校の地域学の取組や英語の乗り入れ授業の様子等を実際に見ることで，現状把握・共通認識することができた。
- 毎月の定例会や必要に応じて開催される臨時会での報告，小中一貫教育の進捗状況，金浦みらい学園の施設整備内容，児童・生徒指導状況，学校給食の残食状況，そのほか今日的・緊急的課題について，教育長を含む教育委員全員で，非公式協議や意見交換，メールでの報告等を随時行うなど，教育委員会として，様々な情報を共有することができた。
- 総合教育会議の開催を通して，生徒指導案件，教職員の不祥事，学校規模適正化計画及び小中一貫教育推進計画などについて，情報を共有するとともに，積極的な意見交換を行うことができた。生徒指導案件に関する対応・取組等については，スクールソーシャルワーカーや巡回カウンセラーにも出席いただき，専門家の立場からの意見を聞くことができた。また，経緯や現状把握，課題や今後の対応策などを共有することにより，共通認識，共通理解を深めた。
- 学校規模適正化に関して，5年・10年後の児童・生徒数等，先を見通し，様々な角度から考えるという視点が必要であった。

B

課題と方向性

- 教育施設への訪問については、コロナが5類となったことに伴い、年2回以上の訪問を実施することにより、現状把握をするとともに、情報共有・意見交換を行い、現在抱える課題等の把握に努める。
- 毎月の定例会等での議事及び協議・報告については、原則、公開としており、申出により傍聴することができる。令和4年度より議事録をホームページ上で公開しており、市民により開かれた教育委員会を目指す。
- 市長と教育委員会が、円滑に意思疎通を図り、本市教育の課題、目指す姿等を共有することが、より効果的に教育行政を推進していくことにつながると考えている。引き続き、総合教育会議等、様々な機会を捉えて、今後の課題や方針等を共有し、より一層の連携を図っていく。
- DX化により市内の通信環境や機器類等が整備されたため、希望に応じて、定例会や総合教育会議、研修会等へのオンライン参加が行えるようにする。
- 学校規模適正化計画の見直しに向けて、中長期的な視点と短期的な視点の両面から検討していく。

3 教育行政基本方針・基本施策

《「学び」「育ち」をつなぎ自立して共に生きる子どもを育てる学校教育の推進》

基本施策1 (重点) 自立した子どもの育成

(学校教育課)

1-(1) 自ら学びに向かい、課題を解決する力を育成するための教育活動の充実

目 標

落ち着いた学習環境づくりを行うため、就学前教育から義務教育へのつながりを大切にしながら自己肯定感・自己有用感の醸成及び人間関係づくりに努めます。子どもたちが夢や目標をもち、自ら課題を見つけてその解決に主体的に取り組む力を養うことができるよう、主体的・対話的で深い学びの実現を図り、学習に主体的に取り組む意欲や学んだことを活かそうとする態度の育成を図ります。また、個に応じたきめ細やかな学習方法の工夫・改善により、学ぶ意欲の向上を図ります。

施策を推進する主な事業

区分	事業名	●目的／◆令和5年度の主な実績／▲今後の方向性	決算額 (千円)
基本	いきいき交流スクール事業	<p>●小規模校が増加する中で、子どもたちが授業等を通して、多様な考えや多くの人間性に触れる場を意図的、計画的に設定し、一人ひとりの子どもたちの主体的に学ぼうとする心情や豊かな感性の育成を図る</p> <p>◆参加校：神島外小学校、北木小学校、六島小学校</p> <p>▲複数の小規模校が教科の学習等をともに行うなど授業を通じた学校間・地域間の交流活動を推進する。</p>	127
基本	転入学特別制度	<p>●豊かな自然環境や少人数の中での教育活動を特色とした小・中学校を指定し、その教育方針に賛同する児童生徒並びに保護者に対して、特別に入学又は転入学を認めることにより、特色ある学校生活を送ることができるようにする。</p> <p>◆「わくわくシーサイドスクール」活用児童：0名 「神島外小学校転入学特別制度」活用児童：6名 「神島外中学校転入学特別制度」活用生徒：7名</p> <p>▲極小規模校のメリットを生かし、その教育方針に賛同する児童生徒並びに保護者に対して、特色ある学校生活を送ることができるようにする。</p>	—

1 - (2) 確かな学力を身に付けるための教育内容・方法の充実

目 標

子どもの成長やつまずき、悩みなどの理解に努め、個々の興味・関心、意欲等を踏まえてきめ細かく指導・支援します。また、子どもが自ら学習状況を把握し、学習を調整することができるなど、主体的に取り組む意欲や態度を育成します。

施策を推進する主な事業

区分	事業名	●目的／◆令和5年度の主な実績／▲今後の方向性	決算額 (千円)
重点	少人数指導研究事業、非常勤講師等単市加配配置計画	<p>●県の加配を活用して少人数指導を実施したり、単市で非常勤講師を配置して少人数での算数の授業や中学校から小学校への乗り入れ授業を実施したりする。学習内容の積み上げが特に重要な教科の指導を充実させることで、児童生徒の学力向上を図る。</p> <p>◆笠岡東中学校、笠岡西中学校及び金浦中学校に英語免許保有者と数学免許保有者6名の常勤講師（県費）を配置した。</p> <p>中央小・大井小に非常勤講師2名（県費）を配置した。</p> <p>◆県の加配および単市で、校種間の円滑な接続のため、市内中学校ブロックにおいて、中学校から小学校への乗り入れ授業を確実に実施するための講師を配置した。</p> <p>配置校 笠岡東中・笠岡西中・金浦中・新吉中・神島外中（非常勤講師6名：市費） 大島中（常勤講師1名：県費）</p> <p>▲児童生徒の学習意欲の向上、及び教員の指導力向上を図る。</p>	15,794
重点	学習の機会の充実事業	<p>●児童生徒の学習に対する意欲・関心を高め、学習習慣の定着を図るために、放課後、土曜日、夏季休業中に学習の場を提供することで、学習内容の確実な定着を図り、児童生徒の学力向上に資する。</p> <p>◆かさおか夏チャレンジ事業 参加人数 126人 実施場所 市内 9小学校 かさおかホリデーチャレンジ学習支援事業 学習会（土曜日） 月1回程度、参加児童 60人 実施場所 市内 7小学校 主体的な学びの基盤づくり事業 参加人数 97人 実施場所 市内 7小学校 355人 市内 4中学校</p>	1,550

		<p>※実施していない学校 小学校2校, 中学校2校</p> <p>▲継続的に学習を行うことで, 児童の学習習慣の定着と学力向上を図る。</p>	
重点	笠岡市中学生学力向上に向けた検定チャレンジ	<p>●検定に向け自主的・積極的に取り組むことで, 学習意欲及び基礎学力の向上を図る。</p> <p>◆補助金実績 英語検定 91名 数学検定 24名 漢字検定 64名</p> <p>▲継続的に取り組むことで, 学習意欲及び基礎学力の向上を図る。</p>	704
重点	ICT支援員配置事業	<p>●授業等で使用する ICT 機器の活用支援を行う ICT 支援員を配置するとともに, 状況に応じて教育委員会事務局や各校へ訪問できる人員を配置し, 「授業における ICT 支援」「校務における ICT 支援」を行うことで, 教員の負担や校務処理を軽減し, 児童生徒に向き合う時間を確保する。</p> <p>◆派遣校 小学校 14校 中学校 8校(小北中含む) 学校 ICT 支援員 約13人</p> <p>▲機器の設定や細かな操作方法等, 教職員への支援から, 生徒への技術指導や ICT 機器を用いた授業のサポートなど, 各校の要望に応じて, 臨機応変に支援することで授業内容の充実を図る。</p>	54,879
重点	外国語指導助手配置事業	<p>●児童生徒の外国語に対する関心を高め, 国際理解等に係る認識を醸成することを目的に, 生きた英語に触れる機会を確保することで, コミュニケーション能力の向上を図る。</p> <p>◆外国語指導助手 (ALT) を9名配置した。 配置校 小学校14校 中学校8校(小北中含む)</p> <p>▲英語の授業において, 担任を補佐し, 生きた英語を子どもたちに伝えることで, 生徒の意欲関心の向上につなげる。</p>	46,530
重点	AI教材整備事業	<p>●G I G Aスクール構想で整備した学習者用端末を効果的に活用できるAI教材を全児童生徒に導入し, その蓄積されたデータ等を適切に活用することで, 個に応じた学習支援につなげる。</p> <p>◆ドリル教材及び授業支援アプリの導入。 小・中学校各2校において学力調査を実施し, 有効的な活用と効果について検証した。</p> <p>▲学習意欲向上と基礎学力定着を図った。また, 個に応じた</p>	5,752

		指導を行うことで学びに向かう力の育成を支援し全体の学力向上を図った。	
基本	若手教員研修会事業 (学びウィーク)	<ul style="list-style-type: none"> ●講師を招き、授業づくりの演習等から授業の改善点、学習集団づくりの留意点について考えたりすることを通して、自身の教師力向上を図る。 ◆研修会実施 特別支援教育研修会 7月31日(月) 8月7日(月)8日(火) 学級経営力向上研修会 8月1日(木) ▲教師力向上を目指す研修を実施する。 	—
基本	指導者用デジタル教科書整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ●指導者用デジタル教科書を整備することにより、教員が日常的に工夫しながら活用し、分かりやすい授業を展開することで、児童生徒の学力向上を図る。 ◆教科書に準拠した指導者用デジタル教科書を整備、活用 小学校全学年(国語・算数) 5年生以上(社会・外国語) 3年生以上(理科) 中学校全学年(国語・数学・理科・社会・英語) ▲教員が有効に活用してわかりやすい授業を行う。 	8,669

評価

<ul style="list-style-type: none"> ●各校で学力向上改善プランを作成、「徹底して取り組むこと」を明確にして取り組んだ。さらに、学校訪問を行い、成果をあげている学校の事例を集約して校園長会や学力向上担当者会で共有した。 ●算数・数学、外国語(英語)でワーキンググループを作り、小中一貫の系統的な指導ができるように検討した。(年約5回の協議、授業公開、教務主任者会で報告等)。 ●各校で時程を変更したり、補充学習の仕方を工夫・充実させたりして基礎基本の定着に取り組むことができた。また、ワーキンググループで校種を越えて教科指導に関する協議や授業参観をすることができ、系統性を再確認したり、授業改善につなげたりすることができた。 ●1人1台端末の日常的な利活用については、学校訪問や校園長会等で、繰り返し利活用について指導した。また、ICT支援員と協力し、学習ログの活用を促したり、各校でのミニ研修を行ったりした。共有ドライブ内にALTによる学習動画を作成・保存し、授業で活用できるようにした。 	B
---	---

課題と方向性

- 「個別最適な学び」の実現には、ICT 端末の効果的な活用が必須であり、授業改善は急務の課題である。
- 生徒指導上の問題が低年齢化、複雑化しており、落ち着いた学習環境づくり、集団づくりをしていかなければならない。
- 全国学力・学習状況調査（R5）の平均正答率は、中学校で県平均を3ポイント下回った。系統性を意識した丁寧な指導が必要。
- 各校・中学校区で授業の基盤となる人間関係づくりやソーシャルスキルトレーニング等の取組を充実させ、温かな人間関係づくり、安心して学べる学級づくりを目指す。
- 教職員が大切にすべき「コーチング」や「ファシリテーション」等のスキルを身に付けることができるよう、コーチング研修を実施する。
- 小中一貫教育の推進、系統性を意識した授業づくりに向け、笠岡市教育研修所の各部会を小中合同部会として再設定し、小中の教員がともに研修する場を増やす。
- 先進的な取組を行っている学校の情報・研修日程等を市内全校に共有し、授業観を再考する一助とする。
- 学力向上プラン等に基づく取組の実施と、評価・改善サイクルの確認、伴走支援の充実を目指す。

基本施策2 共生の心の育成

（学校教育課）

基本施策2－（1）豊かな人間性を育む教育の充実

目標

価値観の多様化とともに、社会全体のモラルの低下が見られ、社会性や規範意識、道徳性の低下などが指摘される現状を踏まえ、子どもたちに基本的な生活習慣や規範意識を身に付けさせ、子どもの豊かな人間性や社会性を育む「心の教育」の充実を図ります。特に、人、社会、自然などとかかわる体験活動の充実や家庭や地域連携を通して、道徳教育の充実に向けた取組を推進します。また、いじめ、不登校、問題行動の未然防止、早期発見、早期解決に取り組み、子どもたちの好ましい人間関係づくりを推進します。

施策を推進する主な事業

区分	事業名	●目的／◆令和5年度の主な実績／▲今後の方向性	決算額 (千円)
基本	ひろがる未来応援事業	<ul style="list-style-type: none"> ●交流活動や地域探求活動、体験活動等を通して、人々の思いや願い、多様な考えに触れ、互いの良さを認め尊重し合いながら、自らの生き方を考えたり他者と協働して身近な課題を解決しようとしたりする子どもを育てる。 ◆各中学校ブロック等が実施する教育活動や取組、子どもたちが主体的・対話的で深い学びを実現することができ 	2,450

		<p>る教育活動や取組，その他特色ある教育活動等に取り組んだ。</p> <p>▲創意工夫して，多様で広範囲な体験活動を取り入れた特色ある教育活動を円滑に実施する。</p>																	
基本	いきいきチャレンジ たいけん実施事業	<p>●中学生が地域の事業所において，職場の方々とのふれ合いや活動をとおして，社会人としての責任や苦勞，仕事の大切さやルール等について学び，主体的に自らの生き方や進路を選択していかうとする意欲や態度を育成する。</p> <p>◆市内中学校8校，第2学年の生徒が4日間の職場体験を実施した。体験活動は受入事業所を中心に行い，受け入れ先指導担当者による指導のもと，日常の教育活動の一環として行った。</p> <p>▲キャリア教育において，非常に意義のある体験活動を，地域の協力を得ながら，継続していく。</p>	205																
基本	笠岡市教育活動支援事業	<p>●支援員を配置することにより，支援を必要とする児童，生徒に適切な学習環境を提供するとともに，教職員が一体となった支援を行うことで教育活動の充実を図る。</p> <p>◆小学校10校，中学校6校，幼稚園1園へ50人配置した。</p> <p>▲子どもたちの居場所づくり，適切な学習環境づくりのために，ニーズに応じて配置していく。</p>	46,483																
基本	笠岡市総合教育相談支援センター事業	<p>●相談体制を整備することにより，不登校やいじめ等の問題行動の未然防止に努める。</p> <p>◆通室数及び相談・支援件数（小北中含む）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通室児童生徒数 （含仮通室）</td> <td>11名 （小2・中9）</td> <td>22名 （小2・中20）</td> <td>14名 （小3・中11）</td> </tr> <tr> <td>教育相談業務</td> <td>延べ 563件</td> <td>延べ 665件</td> <td>延べ 435件</td> </tr> <tr> <td>教育支援業務</td> <td>延べ 507件</td> <td>延べ 966件</td> <td>延べ 699件</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆市内不登校出現率 小学校1.3% 中学校4%</p> <p>▲小中学校とより一層の連携を図り，学校復帰に向けての組織的な対応を継続していく。</p>		令和3年度	令和4年度	令和5年度	通室児童生徒数 （含仮通室）	11名 （小2・中9）	22名 （小2・中20）	14名 （小3・中11）	教育相談業務	延べ 563件	延べ 665件	延べ 435件	教育支援業務	延べ 507件	延べ 966件	延べ 699件	15,595
	令和3年度	令和4年度	令和5年度																
通室児童生徒数 （含仮通室）	11名 （小2・中9）	22名 （小2・中20）	14名 （小3・中11）																
教育相談業務	延べ 563件	延べ 665件	延べ 435件																
教育支援業務	延べ 507件	延べ 966件	延べ 699件																

基本	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置事業	<ul style="list-style-type: none"> ●市内全小・中学校にスクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーを配置し、児童生徒や保護者からの相談に対応したり、家庭環境等の問題に対応したりする。 ◆スクールカウンセラー 10名配置 スクールソーシャルワーカー 3名配置 ▲市内全小・中学校にスクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーを配置し、児童生徒や保護者からの相談に対応する。 	—
基本	人権教育自立促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ●人権学習を通して正しい知識と理解をもち、様々な人権問題に真摯に向き合える人格の形成を図る。また、教科学習を通して、基礎学力を習得し、自らの力で進路を切り開いていく力を育てる。 ◆笠岡小 37回、吉田小 20回、笠岡西中 32回、新吉中 13回 ▲学校・地域が連携し、こどもたちの健やかな成長を支援していく。 	472

評価

<ul style="list-style-type: none"> ●支援対象者リストを毎月入力し、職員会議や学年会等で共通理解を図ることで、学校全体で児童生徒の状況の把握と早期対応に取り組むことができた。また、毎月の校園長会で本市の現状を伝え、最優先すべき取組として情報発信をする事ができた。 ●令和5年度より小中一貫教育の本格実施に伴い、2年間の施行期間での中学校教員の小学校への乗り入れ授業の成果で、中一ギャップがなくなり、中学1年生の長欠・不登校者数が激減し、大きな成果が見られた。 ●不登校児童生徒のSC・SSWとの連携は概ね図れており、子育て支援課や児童相談所との関わりも増え、関係機関との連携率は高い。また、新たな居場所づくりとして、飛鳥学園「育海」(民間フリースクール)と連携し、自然豊かな笠岡諸島の飛鳥に相談室を開設し、6名の児童生徒が通室している。 	B
--	---

課題と方向性

- 生徒指導において、初期対応が遅かったり、事実の把握がきちんとできていないまま対応したりするなど、課題も多かった。「未然防止」「早期対応」「対処対応」の取組について、先手を打つことでより効果的な生徒指導を行う。
- 小学校の長期欠席・不登校者が激増している。また出現学年も低学年化してきており、より一層の個別の支援・対応が必要である。
【小学校：不登校者/長期欠席者】
19名/35名(R3) → 8名/39名(R4) → 25名/63名(R5)
- 前年度からの長期欠席・不登校者への継続支援はもちろんだが、新規の10日以上29日以下の欠席者（予備群）へのアプローチをより組織的に行うことが課題である。
- 複雑な問題を抱える家庭が多く、学校が出来る支援には限界がある。今後より一層の関係機関との連携が必要、また保護者との信頼関係の構築を行う必要がある。
- 岡山型長期欠席・不登校対策スタンダード及び増補版を活用し、休み始めの3日までの対応を徹底し、家庭と連携を図りながら、組織的に早期に対応し、関係機関につなぐとともに、心の居場所となる別室指導の充実を図る。
- 別室での指導にICTを活用し、教室と別室をつなぐことで、不登校傾向の児童生徒に対しての学力保障や居場所づくりを推進する。また、家庭と別室をつなぎ、ビデオ通話やチャット機能を利用し、登校していない児童生徒とつながり、学校の行事等の情報発信を行う。
- 笠岡市総合教育相談支援センター（適応指導教室）と連携を図り、センターのカウンセラーや相談員の学校訪問を推進していく。
- 飛島学園「育海」（フリースクール）と連携し、離島相談室機能を充実させる。
- 校内の自立応援室の充実と学校以外の居場所づくりの推進を図る。

基本施策2－（2）健康教育の充実と食育の推進

目標

子どもの心身の健康を保持、増進していくために、「早寝・早起き・あいさつ・朝ごはん」の生活習慣の定着を図り、健康を大切にす意欲や態度を育て、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく実践力の育成に努めます。

学校給食において、安全・安心を最優先に徹底した衛生管理に努め、栄養教諭と連携してSDGsを推進する食育指導を行い、望ましい食習慣の確立に取り組みます。

施策を推進する主な事業

区分	事業名	●目的／◆令和5年度の主な実績／▲今後の方向性	決算額 (千円)
重点	地産地消を推進する食育啓発事業	<ul style="list-style-type: none"> ●学校給食を生きた教材として捉え、栄養教諭と連携し学校・家庭・地域における食育を推進する。 ◆地産地消食材を積極的に使用し、栄養バランスと規則正し 	—

		<p>食生活の大切さを理解する食育指導を行うとともに、「食」が繋ぐ社会の仕組みや食品ロス等のSDGsの社会問題への関心を深めることに努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地産地消食材の活用 県内産購入額 59.6% (R4 53.0%) (新) リーキ, キャベツ ・食育指導の実施 22回 (R4 41回) <p>▲地産地消の食材や「食」が繋ぐ社会環境に関心を持ち、日々の食生活の中で「食」への積極的に関わろうとする意識が持てるように指導する。</p>	
重点	健康教育の推進・啓発事業	<ul style="list-style-type: none"> ●基本的な生活習慣を身につけるとともに、必要な質・量・栄養を摂取し自己の健康管理に取り組む姿勢を育てる。 ◆「朝食を食べる」など「食」に関する意識調査のアンケートを行い、学校給食や家庭での食事における栄養バランスのとれた食習慣の大切さが理解できるよう関連する情報提供や食育指導を行った。 ・朝食等に関するアンケートによる毎日の朝食摂取率 小学生 86.2%, 中学生 75.9% (R4 86.8%, 78.4%) ・朝食指導の実施 15回 (R4 18回) ・提供量に対する残食率 小学校 15.5%, 中学校 21.0% (R4 14.8% 23.3%) ・児童生徒の希望献立の実施 11回 (R4 11回) ・給食だより等の資料提供 毎月1回 (R4 毎月1回) ・食育に関する指導等 資料提供 全校に9回 ・施設見学の実施 5回 (R4 3回) <p>▲学校や家庭において、心身の成長と健康管理に大切な「食」への関心を深め、望ましい食習慣と適切な食事を意識する生活ができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「部活動方針」実践推進事業 (岡山県委託事業) 部活動を通じた食育の実践 中学校1校 (年6回) 	

評価

令和5年度には、栄養教諭等が全ての学校を訪問し、給食の状況を把握するとともに、食育に関する指導や情報提供を行うことができた。また、残食率の測定においては、「当日提供した量」と「返却された量」の、日別、学校別測定に加え、献立別での実測に取り組んだ。

地産地消食材の活用推進を図るとともに、地域の食材や給食に携わる人々を紹介する動画の作成、他国籍料理の紹介、読書週間には絵本の中の料理の提供等、給食を通じて、「食」への関心を深めることができた。

A

課題と方向性

給食時間を活用しての食育指導では、「食」への関心を深めるとともに、品温、1食分の配膳量など給食の提供状況や食事の状況、残食の状況も把握できることから、多くの教室を訪問することで、より効果的な食育指導と残食率の減少が期待できる。

また、学年や学校の実態等に合わせて指導内容を工夫し、給食時間のほか、学校や家庭とも連携しながら、より一層の「食」に関する指導の充実を図り、望ましい食習慣の確立に取り組む。

基本施策 2 - (3) 学校体育，スポーツ活動の充実

目標

子どもたちの生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育て、体力の向上を図るとともに、自他の生命の尊重を基本理念として健康で安全な生活を送ることができる能力、態度、習慣を育てます。1週間あたりの総運動時間が短いこと、運動習慣の二極化の傾向があることなどから、幼児期からの多様な運動の経験、「わかる」「できる」楽しさがある授業の実践、体育的行事や運動部活動を通じた家庭、地域との連携等の充実を図り、運動に親しむ資質や能力を育てます。

施策を推進する主な事業

区分	事業名	●目的／◆令和5年度の主な実績／▲今後の方向性	決算額 (千円)
基本	小学校陸上運動記録会 中学校総合体育大会、 新人大会	<p>●中学校総合体育大会や新人大会に参加することで、運動への意識を高める。</p> <p>◆小学校では記録会を、中学校では総合体育大会や新人大会を開催することができた。日頃の活動の成果を発揮する場があり、子どもたちの活動意欲の向上につながった。</p> <p>▲熱中症対策に万全を期した大会運営を行い、子どもたちの体力に無理のない運営方法を検討し、活躍の場を確保することに努める。</p>	199

評価

スピード・敏捷性・瞬発力・巧緻性については、小学校・中学校ともに、全国平均を大きく上回っている。また、筋持久力については、中学生の男女共に改善が見られた。

「体育の授業が楽しい」の質問に、中学生の男女で前回よりも大きくポイントが改善され、逆に小学生の男女が前回よりポイントが大幅に低くなった。小学校年代より、体育嫌いを増加させない取組が必須である。

B

課題と方向性

1週間の総運動時間数 60分未満の割合が、小中学校男女ともに昨年度と比べ多くなっている。
 学校運営協議会で話題にして、家庭（PTA）・地域への協力を求めるとともに、体を動かすことの楽しさや、外遊び等の重要性をしっかりと子ども達に伝えていく。また学校だけでなく、地域全体でスポーツ活動を支える環境の構築について検討していく。

基本施策3（重点） 郷土愛の育成

（学校教育課）

目標

学校（園）において、学校評議員会や学校運営協議会等を通して、地域住民や保護者の意見や助言を学校運営に生かすと共に、地域人材バンクや地域学校協働本部事業の活用を図るなど、地域ぐるみで子どもの教育を推進する体制づくりに取り組みます。

施策を推進する主な事業

区分	事業名	●目的／◆令和5年度の主な実績／▲今後の方向性	決算額 (千円)
重点	コミュニティ・スクール事業	<p>●校長の学校運営に関する権限と責任の下、地域住民及び保護者等の学校運営への参画等を進めることにより、学校と家庭、地域住民等の相互の信頼関係を基に教育力を高め、子どもたちの豊かな学びと育ちを実現する。</p> <p>◆中学校ブロックでの学校運営協議会の開催により保護者及び地域住民等の学校運営への参画や支援の促進を図った。</p> <p>中学校ブロック単位 6協議会、学校単位 1協議会</p> <p>▲中学校ブロックの家庭、地域、学校で子どもたちの成長を支える基盤となるよう継続して推進する。</p>	995
基本	ウェブサイトによる情報発信事業	<p>●インターネットを利用し、学校を紹介するとともに、お知らせや教育方針等の情報を積極的に発信することにより、地域に開かれた学校づくりを図る。</p> <p>◆全小、中学校に整備したウェブサイトを活用し、教育内容の公開、更新を行い、学校の方針や教育内容について広報し、学校教育への理解を図った。</p> <p>▲学校ホームページを活用し、教育活動の現状を公開し地域に開かれた学校づくりを継続して推進する。</p>	—
基本	いきいきオープンスクール事業	<p>●市内の小、中学校の教育活動の現状を一定期間、一斉に公開し、地域に開かれた信頼される学校を実現するため、学校が保護者や地域住民の意見や要望を的確に把握し、家庭</p>	—

		<p>や地域社会と連携協力を図る。</p> <p>◆11月上旬に、市内全校で児童生徒のすべての教育活動を公開し、アンケート等により、地域の方の要望や意見を聞くことができた。</p> <p>▲市内全校で教育活動を公開し、地域に開かれた学校づくりを目指す。</p>	
--	--	--	--

評価

<p>学校運営協議会で、ブロックの目指す子ども像の実現に向け、グランドデザイン、義務教育9年間を見通した活動などについて協議できた。また、学区の子どもの実態や課題への対応策など、学区一丸となって子どもたちの教育環境について話し合うことができた。</p>	B
--	----------

課題と方向性

<p>学校運営協議会として、学校運営に参画しているという意識が浸透してきているが、学園間によって格差がある。今後も、より多くの意見の中で熟議がしっかりと進むよう、熟議の時間の充実、委員の人选、研修会などにより、委員が主体的に学校運営に参画しているという意識を市内全体で高めていきたい。</p>
--

基本施策4（重点） 小中一貫教育及び学校規模適正化の実施

（学校教育課）

目標

<p>児童生徒の適正な規模を確保し、社会性の育成をはじめとする好ましい教育環境と学校運営体制を図り、小中一貫教育の効果をより高めるため現行の学校規模適正化計画を令和元年度に見直しました。</p> <p>令和2年度からの小中一貫教育の試行を生かし、令和5年度からの小中一貫教育の活動が充実するように取り組みます。</p>

施策を推進する主な事業

区分	事業名	●目的／◆令和5年度の主な実績／▲今後の方向性	決算額 (千円)
重点	笠岡市小中一貫教育推進事業	<p>●よりよい教育環境を構築するため、義務教育9年間を見通した教育課程を編制し、系統的な教育を実施する。</p> <p>◆すべての中学校区で教職員の合同研修や乗り入れ授業を充実させた。小中一貫教育推進のためのワーキンググループを組織し、研究成果を教務主任者会で発表したり、小中一貫教育担当者会を開催し、情報交換や講師を招いての研修を行ったりすることで、市全体で小中一貫教育を推進できた。</p>	6,928

		▲小中の教職員の交流による相互理解の促進・意識改革を推進し、義務教育9年間を見通した系統性・連続性に配慮した教育活動を行うことで、指導の一貫性を確保する。	
重点	小中一貫教育及び学校規模適正化計画の実施	<ul style="list-style-type: none"> ●義務教育9年間の枠組みの中で一貫した指導や支援を行うとともに、集団の中でよりよい人間関係を築くことができるような望ましい学校規模にすることで、自立性、社会性、協調性を培う。 ◆市内6中学校ブロックで小中一貫教育が本格実施された。また、今井小学校と笠岡小学校が統合された。金浦中学校ブロック施設一体型小中一貫教育校整備検討委員会を3回開催した。 ◆金浦中ブロックの各地区を対象に懇談会を各2回開催した。 ▲市内小中学校の児童生徒の推移をみながら、自己形成に必要な集団活動を十分できる学校規模を確保する。 	—
基本	小中一貫教育コーディネーターの配置	<ul style="list-style-type: none"> ●小中一貫教育を推進するにあたり、課題の把握、情報の共有、合同研修会や乗り入れ授業等の調整等を行い、小中の円滑な接続を図る。 ◆学校運営協議会の企画、グランドデザインの策定、乗り入れ授業の調整等に取り組んだ。 ▲一貫教育の本格実施の中で、ブロック内の学校の調整役として、計画を推進する。 	4,834

評価

<p>●本格実施となった本年度から、推進体制の見直しや再編された中で、それぞれの学園の小中教職員合同研修会などで、学びの継続性や系統を意識した指導方法の研究が進んでいる。児童生徒の状況については、中学校の教員が小学校で行う乗り入れ授業を行う中で、「面白い。」「興味が湧いた。」「中学生になっても、知っている先生がいて安心。」という感想や、小小合同授業や小中交流などでは、「同じ中学校に通うことになる他の小学校の子と知り合いになった。」「中学生から、いろんな話を聞いて、中学校の不安が減った。」などの反応が聞こえてきている。こうした子ども達の反応を裏打ちするように、令和5年度の学習状況調査では、中1ギャップなどで注視する中学1年生において、「学校に行くのは楽しいか。」という設問に対し、「楽しい」と答えた生徒は94.2%で、経年変化で見ると令和3年度から7ポイント増え、本年度多くの子どもが小学校から中学校へギャップをあまり感じず、新しい環境に適応できている様子が窺えた。</p> <p>●令和8年度に金浦中ブロックに施設一体型小中一貫教育校の開設を目指していたが、新校舎建設場所の安全面について、再度検討する中で、開設予定を延期することとなった。また、市内小中学校の児童生徒数の推移を見ながら、基準に満たない状況が見込まれる場合</p>	B
---	---

の適正配置計画の見直しをすることについて十分ではなかった。

課題と方向性

- 学力向上については、学力の二極化の傾向があり、中学3年生では経年変化を見ると学力の伸びがあまり見られない。小中9年間の指導の中で基礎基本の定着の部分に課題が見られ、それが取りこぼしの積み重ねによることが要因だとすれば、9年間の系統的な指導の在り方を市全体で研修していくことが必要だと考える。また、平日の家庭学習の時間は学年が上がるにつれて、減少する傾向にあり、特に中学校で顕著な傾向が見られる。家庭学習の内容や量など発達の段階に応じた、学びに主体性をもたせる家庭学習の方針について、学園全教職員で共通理解を図ることが重要だと考えている。自ら学習課題を見出し、学び続ける学習者を育てる視点での、効果的な指導や評価について、教職員間で話し合う機会を今後増やしていきたい。
- 児童生徒数の変動により、今後の適正化計画の修正も必要になる。長期的な視点をもって、子どもたちの教育環境が適正な規模となるよう計画を進める。

基本施策5 学校施設等の整備

(教育総務課)

目標

学習及び生活の場として、良好な環境を確保するとともに、安全性を備えた施設環境を形成することができるよう、施設整備に努めます。また、「笠岡市小中一貫教育推進計画」に基づき、小中一貫教育を実施するための施設整備に取り組みます。

施策を推進する主な事業

区分	事業名	●目的／◆令和5年度の主な実績／▲今後の方向性	決算額 (千円)
基本	学校照明設備LED化事業	<ul style="list-style-type: none"> ●現在、学校施設に設置されている蛍光灯や白熱灯の照明器具を、年次的にLED化することにより、児童生徒が快適な教育環境のもと、学び、生活できるよう整備する。 ◆市内小中学校の照明設備について、5年間のリース契約によりLED照明に交換した。 実施校：笠岡小，中央小，大島小 笠岡東中，大島中 ▲年次的に照明のLED化を実施し、教育環境の改善を図る。 	1,808
基本	小中一貫教育校の施設整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ●「笠岡市立小・中学校の学校規模適正化計画」に基づき、施設一体型小中一貫校を整備する。 ◆金浦中ブロックにおいて、小中一貫教育校建設に向けての 	193

		<p>協議・検討を行うため、小中一貫教育校整備検討委員会を3回開催した。基本計画での基本方針・整備コンセプト・必要諸室等を踏まえ、より安全な場所への新校舎建設を検討し、基本設計、実施設計等の準備を進めた。</p> <p>▲予想を上回る児童・生徒数の減少により、金浦中学校においても、令和13年度に単学級が出現する見込みとなるため、「学校規模適正化計画」および「小中一貫教育推進計画」の見直しが必要となる。</p>	
--	--	--	--

評価

<ul style="list-style-type: none"> ●照明設備のLED化について、予定通り実施することができた。 ●小中一貫教育校整備に向けて、地域や保護者等の多様な関係者で協議を行い、新校舎のより安全な場所への建設について検討することができた。実施設計までには至らなかったが、設計委託に備え、保護者や学校関係者の意見を取り入れた必要諸室の配置案や詳細要件等を具体的に示すことができた。 	B
--	----------

課題と方向性

<ul style="list-style-type: none"> ●照明設備のLED化については、改訂後の学校規模適正化計画を踏まえながら、計画的に予算要求し実施する。 ●市内の児童・生徒数の現状と今後の推移を再評価し、その結果を踏まえて学校規模適正化計画を改訂し、そのうえで施設一体型小中一貫教育校の必要性についても再検討する。

《市民一人ひとりの豊かな学びにより地域力を高める生涯学習の推進》

基本施策6 (重点) 市民誰もが学びたいときに学ぶことができる機会の提供

(生涯学習課)

目 標

市民に多様な学習機会を提供するとともに、公民館や図書館等の社会教育施設の利用促進を図るため、各施設の環境整備・サービスの充実を図ります。

施策を推進する主な事業

区分	事業名	●目的／◆令和5年度の主な実績／▲今後の方向性	決算額 (千円)
重点	公民館等講座	<p>●講座を通じて、地域住民が気軽に集い、学び、多くの人と交流することによって、心豊かで潤いのある人生を送る機会を提供する。</p> <p>◆・中央公民館 主催講座： 4講座 受講者： 1,060人 (R4 4講座 受講者： 849人) 自主講座： 41講座 受講者： 8,302人 (R4 42講座 受講者： 7,819人)</p> <p>・地区公民館(20館) 講座： 309講座 受講者： 60,311人 (R4 341講座 受講者： 62,134人)</p> <p>▲若い世代にも興味を持って集まってもらえるような講座づくりを検討する。</p>	1,434
重点	図書館事業	<p>●誰もが気軽に利用できる図書館を目指すことにより、来館者数の増加につなげ、市民の読書意欲を高める。</p> <p>◆・図書館運営事業(カウンター業務、ブックスタート事業、巡回文庫業務等)</p> <p>・行事の開催(「笠岡子ども司書」養成講座、紙芝居とおはなしの会、あかちゃんといっしょのおはなしかい、子ども映画会、本のリサイクル会、講演会「窪田次郎と備中」等)</p> <p>・図書館(本館)への来館者数 81,852人 (R4 78,199人)</p> <p>・図書館(本館)での貸出冊数 226,445冊 (R4 226,180人)</p> <p>・読書バリアフリー備品(拡大読書器・デジター図書再生機)の整備。</p>	108,436

		<ul style="list-style-type: none"> ・旧今井小学校を活用し、一部蔵書を移転。 ・移動図書館車「かぶとがに号」の更新。 <p>▲幅広いニーズに対応した資料・情報を収集・整理・提供するとともに、より多くの利用者から信頼される図書館となるように努める。読書バリアフリー備品については、運用方法の確立と広報を行う。</p>	
基本	公民館活動助成事業	<ul style="list-style-type: none"> ●市民の主体的な参加のもとに行う各公民館独自の活動事業を積極的に推進することにより、地域の課題解決を図り、心豊かでたくましい人間尊重のまちづくりを推進する。 ◆20 地区公民館 108 事業 (R4 101 事業) ▲地域ぐるみの社会参加活動を積極的に推進することで、住民同士のつながりを強め、地域コミュニティの維持と持続的な発展を推進する。 	5,762
基本	まちづくり出前講座	<ul style="list-style-type: none"> ●市民の自主的な生涯学習活動を支援する。 ◆講座メニュー 80 講座 (R4 77 講座) 実施件数 354 件 (R4 284 件) 受講者数 14,527 人 (R4 9,982 件) ▲令和5年度から講座終了後にアンケートを実施している。受講者のニーズを把握しつつ、担当課と連携を図りながらメニューの増加を図る。 	—
基本	市民大学教養講座	<ul style="list-style-type: none"> ●文化や知識を広い視野から吸収するための学びの場を提供することにより、生きがいや豊かな人生を過ごすための一助とする。 ◆講座数 1 回 (R4 1 回) 延べ人数 167 人 (R4 59 人) ▲受講生が希望する、郷土の歴史・文化・遺跡等について学べる機会を提供する。 	96
基本	たくましい笠岡っ子事業	<ul style="list-style-type: none"> ●子ども達が自然体験や社会体験等を通じて自主的に活動していく中で、たくましさを身につける。また、地域の職業体験や世代間交流を通じて、地域への愛着を深める。 ◆開催回数 2 回 (R4 3 回) 参加者数 30 人 (R4 43 人) ▲高校生ボランティア (V Y S) との連携も図りながら、より地域への愛着が深まるようなメニューを企画する。 	44

基本	生涯学習カレンダー等の作成・配布	<p>●情報誌を発行し、子どもの体験活動機会や家庭教育の支援に関する情報を提供し、児童の参加を促すとともに保護者の参加意欲を促進する。</p> <p>◆生涯学習カレンダー 年2回(206部/回) (R4 年2回 206部/回)</p> <p>ぼっけえかさおかわんぱく宝箱 年4回(4,633部/回) (R4 年4回 4,748部/回)</p> <p>▲児童・生徒がより興味を持つようクイズ等の企画内容の充実を図る。</p>	145
----	------------------	---	-----

評価

<p>●公民館は、講座の内容を拡充するなど工夫をしながら、学術・文化・スポーツなど多種多様な活動を通じて、教養を深め、健康の増進を図るとともに、交流を深めることができた。</p> <p>●図書館は、幅広い年齢を対象にした行事の開催や、毎月館内の約20か所に特集コーナーを設置する等、本につながる取組を行っている。誰でも気軽に利用できる場所というイメージが定着し、来館者の増加につながった。また、移動図書館車のバリアフリー対応や読書バリアフリー備品など読書に支障がある人にサービスを提供するための環境整備ができた。移動図書館車「かぶとがに号」は、司書がデザインに関わり、市内小中学生へのアンケートにより決定したことで、愛着を持ってもらえるものとなった。</p> <p>●まちづくり出前講座は、講座数に関しては微増であったが、実施件数・受講者数に関しては前年度より大幅に増加し、コロナ前の水準に回復した。分野別で見ると、従来から「防災」が半数を占めており、市民の防災意識の向上に寄与している。市民が前向きに生涯学習活動に取り組める機会を提供できた。</p>	A
--	---

課題と方向性

<p>●公民館は、対面学習だけでなく、オンライン学習に取り組み、他の社会教育施設と連携する。また、南海トラフ巨大地震等、大災害発生が危惧されている中、地域の防災拠点としての役割を担うことも視野に入れつつ、学習の成果を地域課題の解決に向けた活動につなげ、地域コミュニティの維持と持続的な発展を推進する。地域学や県の事業の機会を捉え、公民館に若者が集う、さまざまな人が関わる居場所を提供していく方法を検討する。</p> <p>●図書館は、本館への来館者は順調に増加しているため、引き続き、様々な行事や事業を行いながら、誰でも気軽に利用でき、多くの利用者から信頼される図書館となるように努める。更新した移動図書館車「かぶとがに号」については、運行内容の見直しを行うとともに、施設訪問といった新たな活用方法により周知を図り利用を促す。また、島しょ部等への配本事業の充実や、読書バリアフリー機器を活用した資料の提供等、来館が難しい利用者に対しての読書環境の整備についても検討する。</p> <p>●生涯学習の推進について、直近の市民満足度調査において、60代の満足度が低かったことから、出前講座受講者へのアンケートを基にメニューの増加を図る。また、近年、教育格差の一つとして家</p>

庭状況による子どもの「体験格差」の問題が指摘されている。格差を緩和するため、たくましい笠岡っ子事業などの体験活動の機会を引き続き、提供していく。

基本施策7 生涯学習によるまちづくり

(生涯学習課)

目 標

地域課題の解決や地域の特徴を活かした地域づくりの場としての公民館やまちづくり協議会の取組の状況や活動の成果を広く知らせる等、市民や団体が活動成果を発信する機会をつくり、市民の主体的な学習や活動意欲を引き出します。

施策を推進する主な事業

区分	事業名	●目的／◆令和5年度の主な実績／▲今後の方向性	決算額 (千円)
基本	生涯学習フェスティバル	<p>●生涯学習に取り組む団体の活動発表の場を提供することにより、生涯学習への意欲を高めるとともに学習活動への参加を促す。</p> <p>◆生涯学習功労者表彰、舞台発表、展示発表、体験・販売等を実施した。また、高校生を対象にした「ポスターデザインコンテスト」を実施した。新たな取組として、市内小中学校が探究学習の成果を発表した。</p> <p>参加団体数 65 団体 (R4 64 団体) 参加者数 約 3,200 人 (R4 3,150 人)</p> <p>▲引き続き、市内小中学校による探究学習の成果発表など、幅広い世代に参加を促す。</p>	900

評 価

生涯学習フェスティバルは、新たに市内小中学校による探究学習の成果発表を実施し、地域住民に地域の魅力を再発見してもらう機会を作ることができた。高校生による展示発表件数が大幅に増加するなど、より幅広い世代の参加を促し学びの輪を広げることができた。

青少年スピーチコンテストは、近年、応募が低調となっていたが、小学生・英語の部を新設するなど見直しを行い、応募者を大幅に増加させることができた。(R4: 14人⇒R5: 68人)

このほか、「明るい家庭づくり」作文等、各種事業を開催し、市民に生涯学習活動の成果を発揮する場を提供することができた。

A

課題と方向性

生涯学習フェスティバルについて、出展団体が固定化してきているので、引き続き、探究学習に取り組んでいる小中学校に参加を依頼するなど、より幅広い世代・分野の参加を促し学びの輪を広げたい。

基本施策 8 (重点) 家庭・地域・学校と一体となった地域ぐるみの教育支援

(生涯学習課)

目標

家庭・地域・学校における人と人とのつながりの輪を広げる交流を盛んにするとともに、地域文化を高め、地域に誇りを持つことのできるように地域全体で子どもの健やかな成長を見守りながら、地域ぐるみの教育支援を行います。

施策を推進する主な事業

区分	事業名	●目的／◆令和5年度の主な実績／▲今後の方向性	決算額 (千円)
重点	地域学校協働本部事業	<p>●学校の支援活動を通じて、保護者、地域住民、学校関係者等の連携を深め、地域ぐるみで子どもを育てる体制を構築する。地域住民等の参画による学校教育を支援する組織を立ち上げ、子どもたちの学習支援、学校の環境整備や行事の支援を行うとともに、活動を通じて地域のつながりを強化する。</p> <p>◆市内14地区の小中学校で、地域住民や保護者がボランティアとして学校教育を支援した。(R4 14地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校 14校 (R4 15校) ・中学校 6校 (R4 6校) ・年間実施日数 延べ2,602日 (R4 3,178日) ・年間ボランティア参加者数 延べ30,744人 (R4 30,640人) <p>▲学校運営協議会との一体的な推進を図る。</p>	1,983
重点	放課後子ども教室推進事業	<p>●児童生徒が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な学習や体験、交流活動を行えるように地域ぐるみで子どもを育てる体制を整備する。地域の多様な経験や技能を持つ人材等の協力を得て、放課後等を過ごす児童生徒に体験学習、学習支援、伝統文化体験等を提供する。</p> <p>◆市内4か所において、放課後や週末を中心に子ども教室を開設した。(R4 6地区)</p>	558

		<ul style="list-style-type: none"> ・年間実施日数 延べ131日 (R4 延べ296日) ・年間参加者数 延べ2,146人 (R4 延べ7,631人) <p>▲学校運営協議会との一体的な推進を図る。</p>	
重点	土曜日教育支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ●児童生徒が土曜日や休日等を安全・安心に過ごし、多様な学習や体験、交流活動を行えるように地域ぐるみで子どもを育てる体制を整備する。地域の多様な経験や技能を持つ人材等の協力を得て、土曜日や休日等を過ごす児童生徒に体験学習、学習支援、伝統文化体験等を提供する。 ◆市内9か所で土曜日等における授業や課外授業支援、学習等を行った。(R4 9地区) <ul style="list-style-type: none"> ・年間実施日数 延べ170日 (R4 延べ106日) ・年間参加者数 延べ3,089人 (R4 延べ1,934人) <p>▲学校運営協議会との一体的な推進を図る。</p>	471
重点	青少年宿泊体験事業 (北木島宿泊研修所)	<ul style="list-style-type: none"> ●北木島特有の地域資源を活用した学習及び交流を提供することで、青少年の健全育成を推進するとともに地域の活性化に寄与する。 ◆北木島宿泊研修所の管理運営を指定管理によって運営し、島ならではの地域資源を活用した体験学習を提供した。 <ul style="list-style-type: none"> ・延べ利用者数 979人 (R4 670人) <p>▲受入体制や提供プログラムの構築や見直しなどを行い、充実した学習機会を提供するとともに、施設の環境整備を進めていく。</p>	5,602
基本	青少年健全育成事業	<ul style="list-style-type: none"> ●地区組織が補導活動、環境浄化活動、健全育成活動、啓発広報活動を実施することで、青少年の健全育成を推進する。 ◆交付団体数 11団体 (R4 11団体) <p>▲学校との連携をより強化し、青少年を見守る体制を整備していく。</p>	864

評価

<ul style="list-style-type: none"> ●地域学校協働活動について、土曜日教育支援事業が活性化した一方、地域学校協働本部事業や放課後子ども教室推進事業は、低調であったが、学校教育の支援及び子ども達への社会体験の提供につなげることができた。また、実施団体を支援するため、情報交換会を兼ねた研修会を開催した。 ●青少年宿泊体験事業は、宿泊に限らず日帰りの要請にも対応した。コロナの感染状況が落ち着いたこともあり、使用者数は順調に回復している。 	B
--	---

課題と方向性

地域学校協働活動については、地域学校協働活動推進員を中心とする地域も学校も意識が「地域学校支援活動」と呼ばれていた時期から大きく変わっていない。実施団体への助言や支援に加えて、研修会開催などを通じて、地域と学校の意識を変えて、活動を活性化させたい。

基本施策 9 社会教育に取り組む市民や団体との協働と支援

(生涯学習課)

目標

市民団体等の育成・支援を図り生涯学習の輪を広げることにより、活力ある地域社会を形成します。

施策を推進する主な事業

区分	事業名	●目的／◆令和5年度の主な実績／▲今後の方向性	決算額 (千円)
基本	諸学級事業	<p>●同世代あるいは世代の垣根を越えた仲間たちが、地域社会や家庭に根差した、継続的な生涯学習活動を行う機会を提供する。</p> <p>◆生涯学習活動を行う各諸学級に対して補助金を交付し、活動の支援を行った。</p> <p>・学級数 幼児1 女性5 成人10 高齢者2 チャレンジ4 (R4 幼児2 女性6 成人 9 高齢者1 チャレンジ2)</p> <p>▲事業主催者に対して補助制度の存在を広く周知して、学級数を増加させる。</p>	550
基本	子どもフェスティバル	<p>●気軽に楽しめるレクリエーションなどを通して、親子のふれあいや参加者相互の親睦を図る。また、市民がボランティアスタッフとして参画することでボランティア精神の醸成を図る。</p> <p>◆感染対策に配慮した上で、4年ぶりにコロナ前と同様、ゴールデンウィーク中(4月29日)に開催できた。</p> <p>・参加者数 1,700人 (R4 89人)</p> <p>▲コロナ前と同様、ゴールデンウィーク中(4月29日)に開催する。</p>	930

評価

子どもフェスティバルは、コロナ下において、飲食コーナー廃止やクリーンタイム新設など、実行委員会で何度も協議を重ねる中で、各社会教育団体と子ども達に体験活動の機会を与えたいとの思いを共有し、無事開催することができた。

A

課題と方向性

近年、笠岡市子ども会育成連絡協議会において、会員数・会員団体数が減少しており、会員や担い手の確保や育成が急務である。既存団体の会員・役員が楽しめるイベントの再開を支援し、会員の維持と活動の継続を図りたい。あわせて、NPO法人など、新たに団体との連携も図りたい。

《幅広い世代が楽しめる文化・芸術の振興と担い手の育成》

基本施策 10 文化財の保護・活用

(生涯学習課)

目 標

文化財を総合的に保護・活用するための基本構想を策定し、保護と活用の一体的な取組を進めていきます。

また、文化財と関わることで、地域への理解や愛着を深め、交流や連携を推進する契機となるような取組を実施します。

施策を推進する主な事業

区分	事業名	●目的／◆令和5年度の主な実績／▲今後の方向性	決算額 (千円)
基本	文化財の保護・活用事業	<p>●文化財の調査を行い、重要なものは指定・保護して後世に伝えるとともに、公開活用を促進し、笠岡市の文化及び魅力と活力の向上を図る。</p> <p>◆【主な事業】</p> <p>○歴史文化を守り、育て、伝える 文化財指定等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国登録有形文化財（建造物） 長舗家住宅 登録 ・国重要文化財 小野竹喬筆「波切村」 指定決定 <p>笠岡市文化財保護事業補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・菅原神社本殿保存修理事業 ・八幡神社石灯籠修理事業（真鍋島の走り神輿） <p>笠岡市重要無形民俗文化財保存事業補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国、県、市指定文化財 合計7件に補助 <p>文化財施設の管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敬業館，関戸廃寺，長福寺裏山古墳群 ・遍照寺多宝塔 <p>○歴史文化を効果的に活かす</p> <p>文化財の公開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国登録記念物 清水氏庭園一般公開 年2回 ・文化財説明板設置 木之子島 <p>郷土館，井笠鉄道記念館における情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郷土館企画展「真鍋島歴史展」 ・郷土館出張展示「笠岡の偉人・先人展」 (児童生徒向け，大人向け) 2回開催 <p>日本遺産「石の島」</p>	14,060

		<ul style="list-style-type: none"> ・石の島ガイドスキルアップ研修 全3回 ・児童生徒・教員の研修, 現地見学 全4回 ・シンポジウム(於丸亀市) 1/13 <p>○歴史文化を守り, 育み, 活かすための基盤をつくる 白石踊後継者育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期練習会 14回開催 (R4 定期練習会 14回) ・出前講座, 鑑賞体験ツアー, イベント参加 3回 ・伝承者養成 DVD の増版 600枚 <p>▲文化財調査を継続するとともに, その成果を保護施策に反映させる。また活用事業として地域のことを知る機会を提供し, 郷土への愛着と誇りを涵養する。</p>	
基本	笠岡ふるさと再発見事業	<p>●若い世代に笠岡の歴史・文化に触れる機会を提供することにより, 笠岡の魅力を再発見してもらい, 郷土への愛着を涵養する。</p> <p>◆「笠岡へもっと愛着を持ち隊」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「文化財めぐりハンドブック」(改訂版) 小学1年生に配布 322冊 ・文化財等レポートの募集 募集期間 7/15~10/31 提出レポート数 65点 (R4 64点) ・優秀作品の展示 笠岡市立図書館 1/23~2/7 笠岡市生涯学習フェスティバル 2/11 <p>▲引き続き, 小学生と保護者世代に笠岡市の歴史文化と接する機会を提供する。</p>	158

評価

文化財の調査・指定を少しずつでも進めていくことで, 将来の保全や活用の基礎を整えることができた。また文化財保護や活用事業を促進することにより, 関係者の保存継承に対する意識も高めることができた。

A

課題と方向性

- 笠岡市にとって重要な文化財については, 引き続き保存・継承を図る。また, 文化財の調査を継続し, 個々の文化財の歴史的な価値を明確化していく。事業計画については文化財の価値, 事業の効果と緊急性, 所有者の意向などをふまえて優先順位を決定し, 着実に実施する。
- 文化財講座・企画展等の情報発信についても, その時々ニーズに応じて積極的に取り組む。また「笠岡へもっと愛着を持ち隊」は, 小学生と保護者世代に笠岡市の歴史文化と接する機会を提供することができる事業であるため, 継続していきたい。

基本施策 1 1 竹喬美術館の活性化と館蔵品の充実

(生涯学習課)

目 標

美術館設立の趣旨を基本に、市民のニーズを踏まえた魅力的で多様な企画展の開催や環境づくりにより、市民が何度でも訪れたい場所へと変革していきます。

施策を推進する主な事業

区分	事業名	●目的／◆令和5年度の主な実績／▲今後の方向性	決算額 (千円)
重点	展覧会事業	<p>●市民が見る,知る,体験する場と機会を得られるようにし,文化の向上を図る。</p> <p>◆入館者総数 5,882人 (R4 12,777人)</p> <p>○特別陳列「開館40周年記念 歌を楽しむ 清水比庵」</p> <p>○特別展「三重県立美術館所蔵 近代日本画名品展」</p> <p>○テーマ展「生れる絵画 ースケッチから下絵,習作,本画へ」</p> <p>○テーマ展「国画創作協会の画家たち」</p> <p>令和5年8月28日～令和6年3月15日</p> <p>施設メンテナンス休館</p> <p>▲竹喬研究を主軸としながら,若い世代にも興味を持ってもらえるような展覧会を企画する。</p>	6,531
基本	空調熱源機器更新事業	<p>●老朽化した空調設備のうち,緊急性の高い熱源設備を更新し,来館者が快適に過ごすことができる環境を整備する。また,安定した展示・收藏環境を整える。</p> <p>◆空調熱源機器の更新工事を施工した。</p> <p>▲今後も引き続き,快適な鑑賞空間を保つため,空調熱源器の管理に努める。</p>	31,295
基本	監視カメラ更新事業	<p>●竹喬美術館内に設置の監視カメラの更新を行い,来館者が安全に鑑賞できる環境を整備し,また,盗難等から作品を保護をする。</p> <p>◆展示室,ホール等に設置の監視カメラの更新をした。</p> <p>▲今後も引き続き,安心で安全な美術館維持のため監視カメラの管理に努める。</p>	5,797
基本	照明LED化事業	<p>●蛍光灯製造終了に伴うリスクに対応し,発光効率のよいLEDにすることで,電気料金やランニングコスト削減に繋げる。また,調光が可能となることにより,特別展等での照度指定に対応する。</p>	1,676

		<p>◆美術館内の照明のLED化</p> <p>▲リース契約による計画的な管理に努める。</p>	
基本	各種イベント開催事業	<p>●美術館に親しみ、絵画に興味を惹かれるような機会を作る。</p> <p>◆地域学と連携した美術館訪問、授業（継続）</p> <p>子ども対象のワークショップ「コラージュを作ろう」開催（継続）</p> <p>子ども絵画教室開催（継続）</p> <p>ワークショップ「北木石と日本画絵具で作るオリジナルアクセサリー」開催（継続）</p> <p>学童保育対象ワークショップ「うちわをつくろう」（継続）</p> <p>竹喬茶会（竹喬生誕祭）</p> <p>各展覧会におけるギャラリートーク開催（継続）</p> <p>▲多世代が美術と美術館に足を運びたいくなるよう、切り口を変えた様々なイベントを企画する。</p>	244

評価

<p>令和5年度は、令和5年8月28日～令和6年3月15日まで施設整備のため休館をし、空調熱源器改修、監視カメラの更新及び照明のLED化を図った。これに伴い、来館者の快適な鑑賞空間を確保し、安心して安全な環境を整備することができた。</p> <p>また、休館期間を利用して、長年の懸案事項であった館蔵品の整理を実施した。これにより、作品の保存環境が向上し、効率的な管理が可能となった。作品の整理は美術館内外の研究者にとっても研究の深化の助けとなり、美術館として信頼性と評価を向上させた。</p> <p>特別展「三重県立美術館所蔵 近代日本画名品展」では、三重県立美術館が所蔵する宇田荻邨をはじめとする近代日本画の名品を紹介し、多くの入館者があり高評価を得ることができた。</p> <p>小学校児童の美術館訪問の積極的な受け入れ、イベントの開催、小中学校への竹喬版画の展示など、若年層へのアプローチについて継続して取り組んだ。</p>	A
--	---

課題と方向性

<p>特別展で実施しているアンケートからは、企画及び展示への満足度は高く、また竹喬作品への安定した評価がうかがえる。入館者の年齢層が高齢者に偏ってはいるものの、少しずつ若年層の来館が増加していることは確かであるが、さらなる若年層へのアプローチは依然として課題である。</p> <p>このため、竹喬美術館の使命である、小野竹喬の業績の顕彰や竹喬の周辺画家の研究は大切にしながら、若い世代に魅力を感じてもらえる企画展を積極的に組み込み、バランスよく集客力のある展覧会の充実を図る。</p> <p>また、竹喬並びに美術館の認知度を上げるため、若い世代に竹喬の偉業と財産を伝える各種イベント</p>

にも継続して取り組む。

開館から40年が経過する施設の老朽化と収蔵庫の不足は大きな課題である。施設・設備の長寿命化は計画的に取り組を進めているので、収蔵スペースの確保について、中期的、長期的なビジョンのもと、手法、費用等の検討を進める。

基本施策12 芸術文化活動の振興・交流と担い手の育成

(生涯学習課)

目標

市民参加による幅広い自主的な創作活動を促進し、若者の視点も踏まえて、優れた文化・芸術にふれあう機会を増やします。また、文化向上の拠点整備に努めます。

施策を推進する主な事業

区分	事業名	●目的／◆令和5年度の主な実績／▲今後の方向性	決算額 (千円)
基本	文化事業の充実	<p>●芸術・文化活動の活性化によって知性と文化意識の高揚を図り、長期的な視点で文化的風土を育む。</p> <p>◆笠岡市さつき・新緑展 5/26～28 入場者数 343人 (R4 464人)</p> <p>夏休み子ども体験教室 7/22, 23, 8/5, 6 参加者数 150人 (R4 161人)</p> <p>名月観賞の夕べ 9/30 入場者数 505人 (R4 中止)</p> <p>笠岡市菊花展 10/27～11/5 入場者数 998人 (R4 1,063人)</p> <p>笠岡市芸能祭 11/3 入場者数 675人 (R4 350人)</p> <p>笠岡市文化祭 11/3～5 入場者数 1,336人 (R4 1,137人)</p> <p>笠岡市児童・生徒美術展 1/20～21 入場者数 2,338人 (R4 2,427人)</p> <p>笠岡市美術展 2/16～18 入場者数 1,350人 (R4 1,880人)</p> <p>▲今後も芸術・文化活動の火を絶やさぬよう各事業を継続するとともに、市民に多様な芸術文化に触れる場を提供する。</p>	909

基本	能・狂言体験学習	<p>●小、中学生の伝統芸能への関心・理解を深め、豊かな情操を育むとともに、将来の文化活動を担う人づくりを推進する。</p> <p>◆①体験コース（2時間×1回） 能：大島中学校 狂言：笠岡小学校・城見小学校・新山小学校</p> <p>②継続発表コース（2時間×7回） 狂言：神島外小学校</p> <p>▲若い世代の芸術文化への関心・理解を深めるため、伝統芸能に触れる場を提供する。</p>	233
基本	笠岡市木山捷平文学選奨	<p>●笠岡市出身の小説家木山捷平氏の業績を顕彰することで、文芸創作活動の活発化と、文芸創作活動をする市民の増加を図る。</p> <p>◆第19回木山捷平文学選奨</p> <p>【全国公募】 短編小説 応募作品数 267編（R4 222編）</p> <p>【市民等公募】</p> <p>随筆 応募者数 一般14人（R4 17人） 詩 応募者数 一般（高校生含む）22人（R4 11人） 小中学生1,232人（R4 1,314人）</p> <p>短歌 応募者数 一般14人（R4 11人） 高校生42人（R4 0人） 小中学生418人（R4 371人）</p> <p>俳句 応募者数 一般14人（R4 11人） 高校生267人（R4 28人） 小中学生926人（R4 1,063人）</p> <p>川柳 応募者数 一般18人（R4 24人） 高校生32人（R4 6人） 小中学生164人（R4 247人）</p> <p>▲各部門の募集を継続するとともに、応募者のさらなる増加を図る。</p>	2,328
基本	郷土文学者顕彰事業	<p>●郷土の優れた文学者の業績を顕彰し、文学資料を保存・展示することにより郷土の文学振興に寄与し、ひいては笠岡の魅力を広く発信する。</p> <p>◆森田思軒顕彰講演会 11/11 参加者数47人（R4 50人） 木山捷平生家管理 雨樋修繕・剪定</p> <p>▲森田思軒の顕彰とともに、木山捷平文学資料の整理及び木山捷平生家の整備も進めていく。</p>	280

基本	市民会館運営事業	<p>●市民の生活，文化及び教養の向上と福祉の増進を図る。</p> <p>◆笠岡市民会館を管理・運営するとともに，市民会館を利用した自主講座や文化芸術鑑賞に係る事業を一般財団法人笠岡市総合福祉事業団吸江社へ委託。</p> <p>【施設整備関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民会館ホール棟屋上防水・外壁改修工事 (R4からの繰越) ・市民会館空調設備改修工事 ・市民会館旧管理人室和室テラスサッシ改修工事 <p>▲今後，年次的に改修工事を行い，長寿命化を図る。</p>	120,285
基本	文化賞揚事業	<p>●笠岡市を代表して文化・芸術部門における中国地区及び全国大会以上に参加・出場した市民に賞揚金を贈呈し，選手を激励する。また，世界大会・全国大会・中国大会・県大会成績優秀者に対し，文化特別賞を授与し，その栄誉を称える。(公益財団法人笠岡市文化・スポーツ振興財団事業)</p> <p>◆全国大会出場 4人 (R4 4人) 中国大会出場 4人 (R4 5人, 1団体) 文化特別賞 全国大会優勝 1人 (R4 -人) また，成績に応じて懸垂幕等の掲揚を実施。</p> <p>▲市を挙げて文化・芸術に携わる方を応援し，出場する選手だけでなく，市民の励みになるよう努める。</p>	79

評価

<p>●コロナ禍の中で令和4年度まで中止していた事業も感染症対策を講じながら4年ぶりに再開でき，市民参加による文化振興事業を実施することができた。</p> <p>●第19回となった笠岡市木山捷平文学選奨では，全国公募の短編小説は267作品(前年+45)，他部門は3,163人(前年+60人)で，短編小説は昨年比増となり，他部門については部門毎に多少の増減はあるものの，総数としては昨年度比で若干増加した。また，短歌・俳句・川柳部門において，新たな取り組みとして「高校生の部」を設けたところ，341人(前年+307人)の生徒から作品応募があった。応募者数は安定的に推移しており，木山捷平と笠岡市の取り組みを全国に発信することができた。</p> <p>●市民会館は，文化向上の拠点としての役割を発揮できるよう，管理・運営を行い，市民に文化活動の場を提供することができた。また，文化・芸能・芸術行事の開催や，多様な文化活動を企画・実施することにより，市民の芸術文化活動への参加機会を増やすとともに，市民相互の親睦を図り，市民教養を高める場とすることができた。</p>	A
--	---

課題と方向性

- 芸術文化活動については、幅広い世代の市民に参加・鑑賞できる機会を引き続き提供していくとともに、各団体が実施している事業を支援し、担い手の育成を図る。
- 木山捷平文学選奨事業については、文芸創作活動のさらなる活発化を目指し、引き続き高校生等若い世代の応募者の増加を図る。
- 市民会館については経年劣化が進んでいるため計画的に改修工事を実施し長寿命化を図り、文化向上の拠点としての役割を果たせるよう整備を行う。

基本施策 13 (重点) カブトガニの保護とカブトガニ博物館の運営

(生涯学習課)

目 標

カブトガニが繁殖力を取り戻すまで、カブトガニ保護と人工飼育及び幼生の放流を継続していきます。

また、子どものうちから干潟等の環境保全の重要性とカブトガニ保護の意義を理解してもらうための多様な取組を行うとともに、カブトガニと博物館を活かした笠岡市のPRを行い、様々な機会を利用して全国に情報発信していきます。

施策を推進する主な事業

区分	事業名	●目的／◆令和5年度の主な実績／▲今後の方向性	決算額 (千円)
重点	カブトガニ飼育環境整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ●カブトガニの幼生の継続的な飼育環境を確保するため、老朽化したカブトガニ飼育棟を改修する。 ◆飼育設備非常用発電機設置工事 ▲引き続き、飼育池・飼育水槽の改修を行い、飼育環境の向上に努める。 	6,270
基本	幼生の飼育・放流事業	<ul style="list-style-type: none"> ●笠岡に生息するカブトガニが人の手を借りることなく、自然に繁殖力を取り戻すまで、幼生を飼育し放流を行う。 ◆人工産卵による第1齢幼生採集数 3,251匹 (R4 0匹) ▲今後も幼生を飼育し、放流できる数を増やしていく。 	3,865
基本	繁殖地内での産卵・幼生・成体調査	<ul style="list-style-type: none"> ●カブトガニの生息状況を確認するため定期的な調査を行う。 ◆幼生調査 150匹確認 (R4 93匹) 成体調査 31匹確認 (R4 14匹) 繁殖地内での自然産卵確認 0カ所 (R4 0カ所) ▲繁殖地の現状把握に向けて、調査エリアの拡大を行い、新たな産卵場所や幼生の生育場所の有無を調べるなど、 	75

		より詳細なデータの把握に努める。	
基本	監視活動, 干潟・砂浜の保護活動	<p>●カブトガニの生息環境を良好に保つため, 繁殖地の保護を行う。</p> <p>◆カブトガニ保護啓発運動 令和5年6月3日 281人参加 (R4 257人)</p> <p>保護監視活動 4月~11月 46日実施 入浜者数 26人 (R4 50日実施 入浜者数 266人)</p> <p>▲保護啓発だけでなく, 繁殖地の保護につながる様々な啓蒙活動を展開し, カブトガニ保護に対する意識の向上を図る。</p>	4,047
基本	特別展, 特別陳列の開催	<p>●自然とカブトガニについて学ぶ機会を提供する。</p> <p>◆入館者総数 59,386人 (R4 61,439人)</p> <p>特別展示「磯のいきもの@笠岡」展 令和5年7月20日~10月1日 期間中入館者 18,592人</p> <p>特別陳列「IRON FOSSILS」展 令和6年2月1日~3月31日 期間中入館者 10,579人</p> <p>▲今後もより多くの方の興味を引き, 集客につながる魅力的な企画展を開催する。</p>	3,834
基本	博物館のPR	<p>●SNSの情報発信ツールを積極的に活用して, 博物館の魅力を広く発信する。</p> <p>◆X (旧 twitter) 令和4年12月開始 フォロワー3,965名 (令和6年3月末)</p> <p>▲引き続き, カブトガニ博物館の周知度向上につながる情報を発信し, 集客につなげる。</p>	33

評価

<p>カブトガニ繁殖地内における自然のカブトガニの個体数確保のため, 引き続き幼生を飼育し放流を行っていく。企画展のうち, 特別展示では笠岡の生物に焦点を当てた展示を行い, 地域の自然を知ってもらうことができた。特別陳列では鉄製恐竜骨格を展示し, カブトガニと同じ時代に生きていた恐竜を, 目新しい形で紹介することができた。</p> <p>また, 施設面の改修では, 飼育設備非常用発電機設置工事を行い, 人工飼育のための基盤強化と, 恐竜模型修繕, シアタープロジェクター更新等, 施設の維持と来館・来園者の満足度を高めることができた。</p>	A
---	----------

課題と方向性

カブトガニ博物館には、これまでの役割に加え、調査・研究の充実、情報発信及び観光振興への貢献等の期待が高まっており、新たな運営の工夫が必要となっている。

SNSの情報発信ツールも積極的に活用して、博物館の魅力を広く発信し、入館者増加を図っていく。

《誰でも気軽に親しめる生涯スポーツの振興》

基本施策 14 生涯スポーツの推進

(スポーツ推進課)

目 標

体力づくりや生きがいと健康づくりを重視し、年齢、性別、障がいの有無等に関わらず、日頃運動不足になりがちな人たちも、誰もが気軽に楽しめるスポーツを広めます。また、SNSなどを積極的に利用して広く情報発信を行うとともに、提供する情報内容の充実を図ります。

施策を推進する主な事業

区分	事業名	●目的／◆令和5年度の主な実績／▲今後の方向性	決算額 (千円)
基本	地域スポーツ活動事業	<p>●誰でもスポーツが楽しめるまちづくりを目指して、住民に対するスポーツ実技の指導を推進し、スポーツ活動の盛んな地域コミュニティの醸成を図る。</p> <p>◆スポーツ推進委員を派遣し、地域のニーズに合わせた指導を行った。(派遣回数：R5年度51回延べ205名、R4年度23回延べ102名)</p> <p>▲スポーツ推進委員に対して、研修・指導を行い、ポッチャ等新たな競技の大会を開催するなど、幅広い活動に対応できるようスポーツ推進委員の質を高めていく。</p>	1,353
基本	スポーツ情報提供事業	<p>●イベント情報やスポーツ団体を紹介することで、スポーツに関わる人口の増加を図る。</p> <p>◆ホームページや広報などを活用し、スポーツ情報の提供に努めた。また、「笠岡市のスポーツ」や「スポーツカレンダー」といった情報誌を発行し情報発信を行った。</p> <p>▲笠岡市公式LINEシステム、インスタグラム、ホームページなどのSNS媒体を使用し、市民だけでなく、より多くの人に笠岡のスポーツ情報を発信していく。</p>	47

評 価

- スポーツ推進委員の地域への派遣回数も増え、ポッチャを中心にニュースポーツの普及を行うことができ、ニュースポーツ大会も3回開催できた。また、スポーツ推進委員の企画会議を2か月に1回行い、会議終了後にポッチャ、モルックなどの実技研修会を行い競技についての理解を深めることができた。
- 「笠岡市のスポーツ」を年1回、「スポーツカレンダー」を年4回作成した。ホームページ及びインスタグラムだけでなく、笠岡市公式LINEシステムへもスポーツ情報の提供を行った。今後は、イベント情報だけでなく、スポーツ少年団の団員募集などの情報について

A

も、積極的に情報発信を行っていきたい。

課題と方向性

- スポーツ推進委員の高年齢化が進んでいることが課題となっている。現在19名の委員（定員20名）で運営しており、令和5年度で1名委員が退任されたが、令和6年度から新しい委員が1名加入された。今後も元気でやる気のある委員を委嘱できるよう努めていきたい。ニュースポーツについては、新たにポッチャの大会を開催し、好評だったので、今年度は、定員を増やして大会を開催できるよう計画していきたい。
- 笠岡市公式LINEシステム、Instagram等、SNSを使った情報発信も積極的に行うだけでなく、地元ケーブルテレビやFMラジオへ出演し告知することで広く市民に情報を伝えていきたい。

基本施策15（重点） 競技スポーツの推進

（スポーツ推進課）

目標

各種スポーツ大会を開催することにより、スポーツレベルの向上を行うとともに競技人口の増加を図ります。また、プロスポーツの大会等を誘致し開催することで、トップアスリートの競技を観て学べるよう、観戦機会の拡大に努めます。

施策を推進する主な事業

区分	事業名	●目的／◆令和5年度の主な実績／▲今後の方向性	決算額 (千円)
重点	プロスポーツ団体 連携協定事業	<ul style="list-style-type: none"> ●トップアスリートを招致・支援することにより、市民に夢と感動を与えるとともに、競技レベルの向上と競技人口の拡大を図る。 ◆岡山シーガルズと連携協定を締結し、公式戦の開催だけでなく、市のイベント等へゲスト参加してもらうことで、市民とチームとの距離を縮め、より市民がスポーツに興味をもっていただくことに寄与した。 ▲引き続き公式戦等を開催し、事業継続していく。 	3,000
基本	スポーツ賞揚事業	<ul style="list-style-type: none"> ●激励会の開催や、スポーツ賞揚金の贈呈により、出場選手を激励し、競技レベルの向上を図る。 (公益財団法人笠岡市文化・スポーツ振興財団事業) ◆賞揚内訳：世界大会2件、全国大会73件、中国大会46件（R4年度世界大会3件、全国大会60件、中国大会36件）。スポーツ協会においては、令和5年度の実績等をもとに、奨励賞3名、優秀個人賞70名、優秀団体賞4団体、優秀選手特別賞6名（R4年度特別功労賞1名、奨励賞4名、 	1,963

		<p>優秀個人賞59名, 優秀団体賞5団体, 優秀選手特別賞5名, 優秀団体特別賞2団体, 優秀監督特別賞1名)を選出し, 賞揚した。(記念品として盾を贈呈)</p> <p>▲引き続き激励会を開催し, 事業継続していく。</p>	
基本	市民スポーツ振興事業	<p>●競技スポーツの強化を中心に総合的なスポーツ推進を図る。</p> <p>◆市スポーツ協会の委託事業として, マラソン大会を開催するなどさまざまなスポーツ活動等に取り組んだ。</p> <p>▲市と連携し, 引き続きスポーツ事業を広く実施していく。</p>	4,853
基本	スポーツ教室事業	<p>●生涯にわたって健康や体力を保持していくことができるよう, 子どもたちにスポーツの楽しさを伝える。ゴールデンエイジに運動に親しむ子ども達をつくる。</p> <p>◆幼児スポーツ教室 (R5年度47名・R4年度中止)・バスケットボール教室 (R5年度51名, R4年度29名)・陸上教室 (R5年度28名, R4年度34名)・軟式野球教室 (R5年度24名, R4年度21名)・サッカー教室 (R5年度15名, R4年度10名)・ソフトテニス教室 (R5年度17名, R4年度11名)・レスリング・マット運動教室 (R5年度13名, R4年度14名)を実施した。</p> <p>▲引き続き教室を開催し, 子どもたちのスポーツへの関心を高める。</p>	728

評価

<p>●岡山シーガルズと連携協定を締結し, 公式戦の開催だけでなく, バレーボール教室やイベントへの参加など市民と触れ合える機会を提供できた。(イベント回数5回)</p> <p>●激励会を開催し, 市内在住の多くの選手を賞揚することができた。</p> <p>●カブトガニ駅伝大会, べいふあーむ笠岡マラソン大会共に昨年度より多くの参加をいただいた。特にべいふあーむマラソン大会については, インターネットでの受付を再開したこともあり, 大幅に参加者を増やすことができた。(カブトガニ駅伝263人, べいふあーむマラソン1,866人)</p> <p>●スポーツ教室は予定していた全ての教室を開催することができた。</p>	A
---	---

課題と方向性

<p>●引き続き公式戦の開催や, トップアスリートと触れ合える機会の提供を図っていきたい。</p> <p>●スポーツ賞揚事業については, さまざまな競技で頑張るアスリートを応援するため引き続き賞揚事業を継続して実施していきたい。</p> <p>●関係団体と連携を密にし, 指導者の養成, 大会の開催等に取り組み, 競技スポーツの推進を図ってきたい。</p>
--

●児童数の減少により、教室の参加人数の確保が課題となっている。今年度は、教室を受講した保護者へアンケートを実施し、保護者の意見を聞き、魅力ある教室を目指し意見を取り入れていきたい。

基本施策16 スポーツ施設の整備・充実と活用

(スポーツ推進課)

目標

総合的かつ計画的な施設整備を進め、既存施設の充実・活用を図って利用しやすい環境を整えます。また、経年劣化部分を修復することにより、施設の長寿命化を図ります。

施策を推進する主な事業

区分	事業名	●目的／★令和5年度の主な実績／▲今後の方向性	決算額 (千円)
基本	総合体育館エントランス屋上防水工事	<p>●総合体育館エントランス屋上は、経年劣化により防水シートのひび割れ等が顕著に見られ、雨漏りも起きていた状態であった。また、エントランスの天井パネルにも雨水が浸み込んで膨らんでいる状態で、落下の可能性もあったことから、それを未然に防ぐための工事を行う。</p> <p>◆防水工事を行った。</p> <p>▲施設の機能維持及び長寿命化を図ることができた。</p>	25,498

評価

●総合体育館エントランス屋上防水工事については、予定どおり実施することができたが、市内の体育施設は、稼働開始から長年経過しているものが多く、今後も維持管理のため予算を確保したい。

B

課題と方向性

●利用者の利便性・安全性確保のためにも、十分な予算確保が必要である。

Ⅲ 評価委員の総合評価

丹 生 裕 一 委 員

「令和5年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書」（以下「報告書」）によると、令和5年度の笠岡市教育委員会の事務管理・執行状況について、多くの事業がコロナ禍の影響から脱し、取組の力強い推進が可能になったことが分かる。そのような状況を踏まえ総合的に見ると、それぞれの施策項目や基本施策毎の成果に隔たりがあることから、目標は「やや目標を達成できなかった」と評価することが妥当と判断した。

続いて、一層の教育行政成果を期待し、今後の主要な課題・改善点を指摘する。

1 「学び」「育ち」をつなぎ、自立して共に生きる子どもを育てる学校教育の推進について

重点となる「基本施策1：自立した子どもの育成」に関して、課題が認められる。

本員は数年にわたりこの評価報告において、授業における児童、生徒のICT端末の活用が各教科の授業及び日常の教育活動のどの部分において本当に効果があるのか、また、子どもの学びへの弊害は起きていないか等の検討が必要であることを指摘してきた。しかし、今年度の「報告書」の「基本施策1」には、「個別最適な学びの実現には、ICT端末の効果的な活用が必須であり、授業改善は急務の課題」等のICT端末の活用推進の文言のみが連ねられ、本員が指摘してきたことへの改善の兆しは見られない。ICT端末を効果的に活用さえすれば子どもの学力が向上する、そんな都合のいい事が起きるだろうか。

令和5年度の「全国学力・学習状況調査の結果」を見ると、笠岡市の中学生は県・全国に比べて、授業内でのPC・タブレットなどのICT機器の使用頻度ははるかに高いにもかかわらず、国・数・英のすべての科目の平均値が県・全国のそれを大きく下回っている。これは令和5年度のみの特異な傾向とは言い切れないはずである。

子どもにICTを何が何でも活用させるために、授業の内容や展開を調整することは本末転倒である。ある学習内容や学習場面において、その方が効果的であると教師が判断したときにおいてのみ、ICTを活用させることが本筋である。自ら学ぶ態度、確かな学力、課題解決の力を育成するためには、各教科指導の本質や学習者の特性を理解し、効果的な課題や活動を設定し、実際に発問や指示を子どもに心に響くように届ける個々の教師の実践的な指導力が必須である。本員は、笠岡市全体の小・中学校教員の授業計画・授業実践の能力向上のための事業を教育委員会が主導して推進すべきであることを指摘してきたが、このことについても「報告書」には、その改善を示す新たな事業の実施の報告はない。笠岡市教育委員会が本年度も本員を評価委員に選出されたということは、長年にわたる本員のこの指摘に一理を認めておられるからであろう。なぜこの課題の改善に足踏みを続けるのか、自問自答していただきたい。

「基本施策2：共生の心の育成」に関して、学校、SCやSSW、関係行政機関との連携推進が継続されていることは重要なことであり評価したい。また、小中一貫教育の本格実施を見据えた、中学校教員の小学校への乗り入れ授業の実施が中1ギャップの低減等の成果に影響を与えた可能性があることも見逃すべきではない。しかしながら、生徒の問題行動や長期欠席・不登校児の増加が見られることから、それらの課題に対する教育委員会や学校の粘り強い取組の継

続をお願いしたい。一方で、栄養教諭等による食育等に関する対面指導を含む、「食」への関心を高めるための様々な給食センターの取組は高く評価できる。

「基本施策3：郷土愛の育成」「基本施策4：小中一貫教育及び学校規模適正化の実施」「基本施策5：学校施設等の整備」のいずれの施策に関しても、沸き起こる様々な課題に直面しながらも徹底した調査と慎重な協議が粘り強く継続されることを願いたい。

2 市民一人ひとりの豊かな学びにより地域力を高める生涯学習の推進について

「基本施策6：市民誰もが学びたいときに学ぶことができる機会の提供」について、昨年度、ほとんどの事業において実施・講座の件数や参加者数が大きな伸びを見せたが、令和5年度はさらに向上している。市民のニーズを拾い出して事業に反映させる努力の結果であろう。特に、図書館事業では、移動図書館車「かぶとがに号」やバリアフリー備品の購入などの積極的な工夫、改善が見られる。

「基本施策7：生涯学習によるまちづくり」「基本施策8：家庭・地域・学校と一体となった地域ぐるみの教育支援」「基本施策9：社会教育に取り組む市民や団体との協働と支援」に関わる様々な事業のほぼすべてにおいて、昨年度の引き続き、利用者数の回復が見られる。その要因には、日程や内容等の具体的な事柄の改善を図る努力があったことを評価したい。

3 幅広い世代が楽しめる文化・芸術の振興と担い手の育成について

「基本施策10：文化財の保護・活用」「基本施策11：竹喬美術館の活性化と館蔵品の充実」「基本施策12：芸術文化活動の振興・交流と担い手の育成」「基本施策13：カブトガニ保護とカブトガニ博物館の運営」では、現状維持をよしとせず、常に少し先を見通した工夫改善を執行する態度を評価したい。特に、ユネスコ無形文化財に登録された白石踊の後継者事業には市外へも参加の輪が広がっていることは喜ばしい。

4 誰でも気軽に親しめる生涯スポーツの振興について

「基本施策14：生涯スポーツの推進」について、ニュースポーツの普及に焦点を当てたことで、スポーツ推進委員の地域への派遣の依頼が増えたことは大きな成果である。市民のスポーツに親しもうとする意欲を高めるための広報活動や新たなスポーツ推進委員の開拓の努力も粘り強く継続していただきたい。

「基本施策15：競技スポーツの推進」については、すべての事業においてその内容が昨年度に比べて活性化していることは喜ばしい。

「基本施策16：スポーツ施設の整備・充実と活用」においては、各施設の老朽化に伴い、様々な課題が生じている。必要な予算の確保が急務であることを市民の皆さんに理解していただけるよう本員からもお願いしたい。

三 谷 信 恵 委 員

「令和5年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書」より、担当部署からの説明を受け、まず感じたことは、事務局の風通しの良さです。質疑応答のなかで課題や反省点も多々見受けられるが、自由闊達な意見交換が行われ、今後の事業への取組の参考点・気付きがあるなど、有意義な会議となりました。

事務の管理及び各事業の執行状況は適正に評価されており、総合的に見て、目標は「概ね達成された」と判断いたします。

以下、報告書に関して感じたことを述べさせていただきます。

1 教育委員会の運営状況，教育委員会が管理・執行する事務

市町村教育委員会研修協議会は、コロナ禍前の研修では教育長と教育委員4名が会場に出向き出席していたが、令和5年度の出席者は1名のみであった。課題や情報を共有し他市町の取組を知る良い機会なので、オンラインでの研修に積極的に参加していただきたい。

この項目の事業は、教育委員の活動が多分に含まれているので、施策に対する意見を「評価・課題と方向性」に記述して次年度に活かしていただくよう要望する。

2 ≪「学び」「育ち」をつなぎ、自立して共に生きる子どもを育てる学校教育の推進≫

I C Tの活用がさらに進み、オープンスクールでの様子を見ると、多くの児童生徒が主体的にタブレットを活用している姿が見られた。子どもの表情にも気を配りながら、「個別最適な学び」の実現に向けて、教員のさらなる指導力向上を目指した研修等にも力を入れていただきたい。

本年度は小中一貫教育が本格実施となり、笠岡市がめざす新たな教育がスタートしたと言えるでしょう。それぞれの学園の小中教職員合同研修会なども定期的開催され、学びの継続性や系統性を意識した指導方法の研究が進んでいる。指導の一貫性が確保されることは、教員による指導力の格差や若手教員の不安解消にもなるため、今後も一層強化しつつ継続していただきたい。また、施設一体型小中一貫教育校にこだわることなく、児童生徒数の推移を見ながら地域の良さと小中一貫教育の良さを活かした取組ができることを期待する。

3 ≪市民一人ひとりの豊かな学びにより地域力を高める生涯学習の推進≫

市民のニーズに応じた講座や事業の充実に努められた成果が表れているように感じる。さらなる工夫を期待する。

学校運営協議会，地域住民，保護者ボランティアの皆さんに協力していただいて、子どもたちが多様な体験ができていることに感謝すると同時に、地域全体で子どもを見守る環境が大事であると改めて感じた。しかし、地域の方の人材確保などに負担がかからないように配慮が必要である。さらに類似した事業があれば見直しも検討していただきたい。

4 《幅広い世代が楽しめる文化・芸術の振興と担い手の育成》

竹喬美術館の施設整備により展示作品の幅が広がると伺い、笠岡では見る事が出来なかった作品と出会うように一層のご尽力をお願いします。

木山捷平文学選奨も19回をむかえ認知度が上がっているにもかかわらず、全国公募の短編小説の応募作品数267編に対して、市民等公募の随筆、詩、短歌、俳句、川柳の一般応募者がいずれも20人未満と少ない原因を分析して、応募が増える工夫が必要である。例えば、市長をはじめとする市職員、教職員、退職教員、各方面で連携している商工会議所、警察、銀行などにも出向いて依頼するなど検討してみてください。

5 《誰でも気軽に親しめる生涯スポーツの振興》

地域福祉課と共同で開催されている障がい者のスポーツ大会など、様々な大会やイベントに工夫が見られ、スポーツを楽しむ環境が整えられていることがよく分かった。

「第2次笠岡市スポーツ推進基本計画後期計画」における基本施策に「障がい者スポーツの推進」が新規に制定され、障がいをお持ちの方のスポーツ参画に係る内容が具体的に示されたことから、今まで以上に理解啓発に取り組まなければならない。例えば、健常者と同じ競技に車いすの種目を追加する等、全ての方と一緒にスポーツを楽しめる街になるようにご尽力願います。

廣 井 正 己 委 員

「令和5年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書」について、検討評価させていただいた。第3期笠岡市教育振興基本計画（令和4年度～令和7年度）に基づき、その基本方針を実現するための16の施策について担当部署より丁寧な説明を受けた。学校教育や社会教育などの生涯学習を通じて、一人一人が楽しく学ぶことを実感し、学びによって個性を輝かせ、変動する社会に対応するたくましく生き抜く力を育てるという基本理念に立ち各事業が展開され、点検・評価も適切に行われていた。したがって、総合評価として目標は「概ね達成された」と判断した。

また、本年度は教育振興基本計画の2年目であるので、課題や改善点を次年度に反映し、計画を推進していただきたい。

以下、報告書及び説明から感じたことを述べさせていただく。

1 教育委員会の運営状況、教育委員会が管理・執行する事務について

学校への施設訪問が再開となり、児童の様子や授業状況、施設環境の現状把握が適切に行われ、教育委員の共通認識を図ることができてよかった。本年度は、教職員との懇談は設定されていなかったようであるが、教職員の生の声を聞くことにより、より教育環境の充実につなげていただきたい。

市長と教育委員会は円滑に意思疎通を図り、課題や方針を共有して教育行政を推進していかなければならない。教育委員会は方針がぶれないように、市長部局と連携していただきたい。

2 ≪「学び」「育ち」をつなぎ、自立して共に生きる子どもを育てる学校教育の推進≫について まず、「基本施策1 自立した子どもの育成」について意見を述べたい。

「1－（1）自ら学びに向かい、課題を解決する力を育成するための教育活動の充実」の「目標」と「施策を推進する主な事業」との整合性が低いことが、昨年度、評価委員により指摘されていたが本年度も同様である。また、挙げられているのは、極小規模校対象の施策であり、市全体として重点に置く事業を展開していただきたい。

「1－（2）確かな学力を身に付けるための教育内容・方法の充実」については、「A I教材整備事業」で児童生徒の個々のデータの適切な活用により、学力が向上している学校が出てきていることは大きな成果と言えよう。しかし、個々のデータが適切に活用できるようにするには、ICT支援員の十分な配置が必要となる。近年、予算削減でICT支援員の数が減ってきているが、市全体に成果を出すためには、十分な配置を是非望むところである。

ワーキンググループで小中学校の校種を越えて教科指導に関する協議を行ったことは、小中一貫教育のねらいに向けて大きく前進していると言えよう。今後、笠岡市教育研修所の部会等を活用して小中学校の教職員が一緒に指導法などの研修を深めていけるような体制を整えていただきたい。

次に、「基本施策2 共生の心の育成」について述べる。

「基本施策2－（1）豊かな人間性を育む教育の充実」については、小中一貫教育の取組により、中1ギャップが軽減され、中学校1年生の長欠・不登校者数が激減したことは大きく評

働きたい。

近年、通常学級に支援が必要な児童生徒が増えてきている。支援員の配置の充実を望む。また、配置数だけではなく、支援の研修を行うことにより内容の充実も期待したい。

「基本施策 2 - (2) 健康教育の充実と食育の推進」については、給食の残食率について様々な観点から検証を行い、子どもたちが食べなくなる給食づくりに懸命に取り組んでいる姿がすばらしい。また、地産地消の食育を推進するために、地域の人とのつながりを意識した動画を作成するなど、いろいろな取組をしていることも評価できる。

「基本施策 3 郷土愛の育成」については、小中一貫教育カリキュラムの中の地域学にどの学校も取り組んでおり、地域の資源について地域の人と関わりながら探究活動を行う学びが進んできている。また、学園内の交流により、隣の地域の良さも知るようになってきている。令和 5 年度全国学力学習状況調査では、「地域の行事に参加している」と答えた小学校 6 年生・中学校 3 年生の結果が全国平均を大きく上回っている。地域学の取組が郷土愛の育成につながっていると評価できる。

「基本施策 4 小中一貫教育及び学校規模適正化の実施」についてであるが、小中一貫教育の中身と学校規模適正化が同じ並びにあげられるのは違和感がある。小中一貫教育推進事業については、「基本施策 1 自立した子どもの育成」「基本施策 2 共生の心の育成」にあげられるべきではないか。

3 《市民一人ひとりの豊かな学びにより地域力を高める生涯学習の推進》について

「基本施策 6 市民誰もが学びたいときに学ぶことができる機会の提供」「基本施策 7 生涯学習によるまちづくり」については、生涯学習の講座受講者数が昨年度より増加し、その活動発表の場である生涯学習フェスティバルにも工夫が見られた。高校生によるポスターデザインコンテストや、小中学校による地域学の発表など幅広い世代の参加が評価できる。

「基本施策 8 家庭・地域・学校と一体となった地域ぐるみの教育支援」については、学校運営協議会との一体的な推進を図る事業がいくつかあるが、核となる地域学校協働活動推進委員の育成が重要である。学校運営協議会は学校教育課が支援しているが、生涯学習課も参加の機会をもち、現状把握するとよいのではないか。

「基本施策 9 社会教育に取り組む市民や団体との協働と支援」については、地域社会の人間関係の希薄化により家庭や地域の教育力が低下している現状、家庭教育の支援がさらに必要となってくる。家庭教育学級の開設等により、子どもたちの健やかな成長と豊かな人間形成のため、親が相互に学びあう場が学校以外にもあるとよい。

4 《幅広い世代が楽しめる文化・芸術の振興と担い手の育成》について

どの基本施策も幅広い世代が文化に親しみ、文化活動に参加できる環境づくりに工夫が見られる。笠岡市の魅力である日本遺産「石の島」、ユネスコ無形文化遺産「白石踊」、国の天然記念物「カブトガニ繁殖地」の活用事業は、郷土への愛着と誇りを醸成するのに大きく貢献している。竹喬美術館、カブトガニ博物館は、今後も魅力ある企画展の開催、PR で集客に努めていただきたい。

5 《誰でも気軽に親しめる生涯スポーツの振興》

障がい者と健常者のどちらもが楽しむ「ふれあいスポーツ大会」が地域福祉課と共催で開催されたことは評価できる。点検・評価でかねてより指摘のあった、障がい者スポーツの振興について、第2次笠岡市スポーツ推進基本計画後期計画（令和6年度～令和10年度）で「障がい者スポーツの推進」が基本施策に新たに追加されたされたことも大きく評価できる。障がい者のスポーツ参画がより促進されることを願う。

中学校部活動地域移行への対応について、活動内容や指導者の確保などが喫緊の課題であるが、中学生にふさわしいスポーツ環境の実現に向かって尽力していただきたい。

IV 資料

令和5年度 教育関係決算総括表

歳入

(単位：千円)

款	R 5年度 決算額A	R 4年度 決算額B	比較	
			額 (A - B)	率 (%)
13 分担金及び負担金	1,076	1,116	△ 40	△ 3.6
14 使用料及び手数料	43,893	42,635	1,258	3.0
15 国庫支出金	101,164	138,327	△ 37,163	△ 26.9
16 県支出金	67,782	48,915	18,867	38.6
17 財産収入	77	98	△ 21	△ 21.4
18 寄附金	21,399	291,471	△ 270,072	△ 92.7
19 繰入金	126,261	118,453	7,808	6.6
21 諸収入	35,555	47,250	△ 11,695	△ 24.8
22 市債	162,700	197,700	△ 35,000	△ 17.7
一般財源	2,225,053	1,602,919	622,134	38.8
合計	2,784,960	2,488,884	296,076	11.9

歳出

(単位：千円)

款・項	R 5年度 決算額A	R 4年度 決算額B	比較	
			額 (A - B)	率 (%)
01 教育費・教育総務費	595,158	354,360	240,798	68.0
02 教育費・小学校費	380,379	375,414	4,965	1.3
03 教育費・中学校費	255,761	385,880	△ 130,119	△ 33.7
04 教育費・幼稚園費	296,528	254,702	41,826	16.4
05 教育費・社会教育費	682,207	598,575	83,632	14.0
06 教育費・保健体育費	574,927	519,953	54,974	10.6
教育関係合計	2,784,960	2,488,884	296,076	11.9

◎ 小学校児童に係る経費の調べ

科目		H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額	対前年比率	備考
児童報償費	決算(千円)	117	173	164	174	170	160	94.1	卒業記念
	1人当たり(円)	339	459	470	466	493	486	98.6	
消耗品費	決算(千円)	30,157	31,047	47,678	30,559	26,993	36,769	136.2	コロナ費(網戸・サーキュレーター等)含む
	1人当たり(円)	14,279	14,679	23,122	15,151	14,008	19,811	141.4	
燃料費	決算(千円)	1,679	944	873	1,024	856	687	80.3	
	1人当たり(円)	795	446	423	508	444	370	83.3	
光熱水費	決算(千円)	32,374	31,532	30,927	36,123	44,359	42,101	94.9	
	1人当たり(円)	15,329	14,909	14,999	17,909	23,020	22,684	98.5	
修繕料	決算(千円)	13,392	10,751	12,062	9,253	14,637	8,596	58.7	
	1人当たり(円)	6,341	5,083	5,850	4,588	7,596	4,631	61.0	
プール維持 管理費	決算(千円)	5,153	6,093	64	1,437	4,879	4,689	96.1	
	1人当たり(円)	2,440	2,881	31	712	2,532	2,526	99.8	
校務員業務 委託料	決算(千円)	2,700	2,725	2,750	2,750	2,543	2,543	100.0	
	1人当たり(円)	1,278	1,288	1,334	1,363	1,320	1,370	103.8	
図書購入費	決算(千円)	5,471	5,577	5,637	5,967	4,048	4,072	100.6	
	1人当たり(円)	2,590	2,637	2,734	2,958	2,101	2,194	104.4	
教材備品 購入費	決算(千円)	16,509	14,987	22,158	9,345	8,358	15,940	190.7	校務用パソコン, 牛乳保冷庫, 空気清浄機(コロナ費)等
	1人当たり(円)	7,817	7,086	10,746	4,633	4,337	8,588	198.0	
ひろがる未来 応援事業	決算(千円)	1,759	1,697	1,627	1,344	978	1,487	152.0	豊かな心を育む総合推進事業(R4まで)
	1人当たり(円)	833	802	789	666	508	801	157.7	
施設維持 改良工事費	決算(千円)	17,616	12,531	12,860	8,780	13,595	12,999	95.6	
	1人当たり(円)	8,341	5,925	6,237	4,353	7,055	7,004	99.3	
GIGA 賃借料	決算(千円)	—	23,892	31,856	31,856	31,856	31,856	100.0	リース料
	1人当たり(円)	—	—	15,449	15,794	16,531	17,164	103.8	
GIGA 備品購入費	決算(千円)	—	—	62,877	21,480	0	0	0.0	
	1人当たり(円)	—	—	—	10,649	0	0	0.0	
GIGA 委託料	決算(千円)	—	—	105,820	0	0	0	0.0	
	1人当たり(円)	—	—	—	0	0	0	0.0	
学校建設費	決算(千円)	180,348	192,885	12,612	73,260	2,503	0	0.0	
	1人当たり(円)	85,392	91,199	6,116	36,321	1,299	0	0.0	
小学校費	合計(千円)	508,266	552,323	587,407	463,086	375,413	380,378	101.3	
	1人当たり(円)	240,656	261,146	284,872	229,591	194,817	204,945	105.2	

児童数(人)	2,112	2,115	2,062	2,017	1,927	1,856	96.3
6年生(人)	345	377	349	373	345	329	95.4

※ 児童数は5/1現在の人数。

◎ 中学校生徒に係る経費の調べ

科目		H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額	対前年比率	備考	
主な経費	生徒報償費	決算(千円)	180	234	236	216	305	271	88.9	卒業記念
		1人当たり(円)	573	701	711	732	933	894	95.8	
	消耗品費	決算(千円)	13,330	15,313	13,268	22,453	14,407	18,525	128.6	コロナ費(網戸・サーキュレーター等)含む
			1人当たり(円)	13,644	15,934	13,952	24,485	15,149	19,898	
	燃料費	決算(千円)	617	555	475	415	354	382	107.9	
			1人当たり(円)	632	578	499	453	372	410	110.2
	光熱水費	決算(千円)	19,424	19,404	16,192	19,124	21,332	20,989	98.4	
			1人当たり(円)	19,881	20,191	17,026	20,855	22,431	22,545	100.5
	修繕料	決算(千円)	7,234	5,490	5,279	5,351	5,260	4,091	77.8	
			1人当たり(円)	7,404	5,713	5,551	5,835	5,531	4,394	79.4
	プール維持 管理費	決算(千円)	1,143	1,132	0	317	1,070	1,069	99.9	
			1人当たり(円)	1,170	1,178	0	346	1,125	1,148	102.0
	校務員業務 委託料	決算(千円)	1,600	1,615	1,630	1,630	1,506	1,506	100.0	
			1人当たり(円)	1,638	1,681	1,714	1,778	1,584	1,618	102.2
	図書購入費	決算(千円)	3,322	3,287	3,149	2,981	2,592	2,521	97.3	
			1人当たり(円)	3,400	3,420	3,311	3,251	2,726	2,708	99.3
	教材備品 購入費	決算(千円)	7,998	9,813	10,215	4,922	5,131	8,732	170.2	校務用パソコン, 移動式音響機器, 空気清浄機(コロナ費)等
			1人当たり(円)	8,186	10,211	10,741	5,368	5,395	9,379	
	ひろがる未来 応援事業	決算(千円)	873	850	795	647	452	892	197.4	豊かな心を育む総合推進事業(R4まで)
			1人当たり(円)	894	884	836	706	475	958	
施設維持 改良工事費	決算(千円)	9,883	15,641	8,190	5,399	5,399	6,247	115.7		
		1人当たり(円)	10,116	16,276	8,612	5,888	5,677	6,710	118.2	
GIGA 賃借料	決算(千円)	—	9,631	12,842	12,842	12,842	12,842	100.0	リース料	
		1人当たり(円)	—	—	13,504	14,004	13,504	13,794		102.2
GIGA 備品購入費	決算(千円)	—	—	29,172	0	0	0	0.0		
		1人当たり(円)	—	—	—	0	0	0	0.0	
GIGA 委託料	決算(千円)	—	—	43,560	0	0	0	0.0		
		1人当たり(円)	—	—	—	0	0	0	0.0	
学校建設費	決算(千円)	20,336	0	6,952	16,044	131,072	0	0.0		
		1人当たり(円)	20,815	0	7,310	17,496	137,825	0	0.0	
中学校費	合計(千円)	225,485	259,657	328,881	271,417	271,417	255,761	94.2		
		1人当たり(円)	230,793	270,195	345,826	295,984	285,402	274,716	96.3	

生徒数(人)	977	961	951	917	951	931	97.9
3年生(人)	314	334	332	295	327	303	92.7

※ 生徒数は5/1現在の人数。

◎ 幼稚園児童に係る経費の調べ

幼稚園配当予算

科 目		H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額	対前年比率	説 明	
報償費	決算(千円)	0	0	0	0	0	0	0	—		
旅費	決算(千円)	191	284	225	132	128	90	70	77.8		
需用費	消耗品費	決算(千円)	1,787	1,908	1,968	1,730	1,436	744	692	93	教師用含む
		1人当たり(円)	8,935	10,314	12,615	15,446	15,277	20,667	3,359	16.3	
	燃料費	決算(千円)	361	180	141	137	95	35	36	102.9	
	食糧費	決算(千円)	9	10	10	10	7	3	3	100.0	
	印刷製本費	決算(千円)	47	48	50	33	24	0	0	—	
		1人当たり(円)	235	259	321	295	255	0	0	—	
	修繕料	決算(千円)	63	118	42	61	50	3	13	433.3	
小計	決算(千円)	2,267	2,264	2,211	1,971	1,612	785	744	94.8		
役務費	通信運搬費	決算(千円)	23	23	21	13	15	5	1	20.0	
		1人当たり(円)	115	124	135	116	160	139	29	20.9	
	手数料	決算(千円)	148	136	147	120	98	60	58	96.7	
小計	決算(千円)	171	159	168	133	113	65	59	90.8		
備品購入費 (図書購入費)	決算(千円)	1,017	1,088	1,060	456	209	98	112	114.3		
ひろがる未来 応援事業	決算(千円)	233	218	199	200	115	28	70	250.0	豊かな心を育む総合 推進事業(R4まで)	
	1人当たり(円)	1,165	1,178	1,276	1,786	1,223	778	2,000	257.1		
計	予算(千円)	3,879	4,013	3,863	2,892	2,177	1,066	1,055	99.0		
園児数(人)		200	185	156	112	94	36	35	97.2		

こども育成課関係

通信運搬費	決算(千円)	593	602	587	526	404	306	206	67.3	
光熱水費	決算(千円)	4,372	4,995	4,676	4,399	5,385	4,244	3,982	93.8	
校務員業務 委託料	決算(千円)	1,100	1,100	1,110	1,120	996	452	554	122.6	
修繕料	決算(千円)	1,944	1,769	1,704	438	292	209	261	124.9	
施設維持改 良工事費	決算(千円)	2,581	1,670	6,803	1,296	1,210	0	968	—	
図書購入費	決算(千円)	0	0	0	0	0	0	0	—	幼稚園配当へ
備品購入費	決算(千円)	2,897	2,722	2,525	3,057	1,013	66	267	404.6	コロナ対策補助金含 む
園建設費	決算(千円)	24,295	8,583	0	0	0	0	0	—	空調設備実施設計・ 工事費
計	決算(千円)	37,782	21,441	17,405	10,836	9,300	5,277	6,238	118.2	

※ 園児数は5/1現在の人数。

令和5年度の主な事業

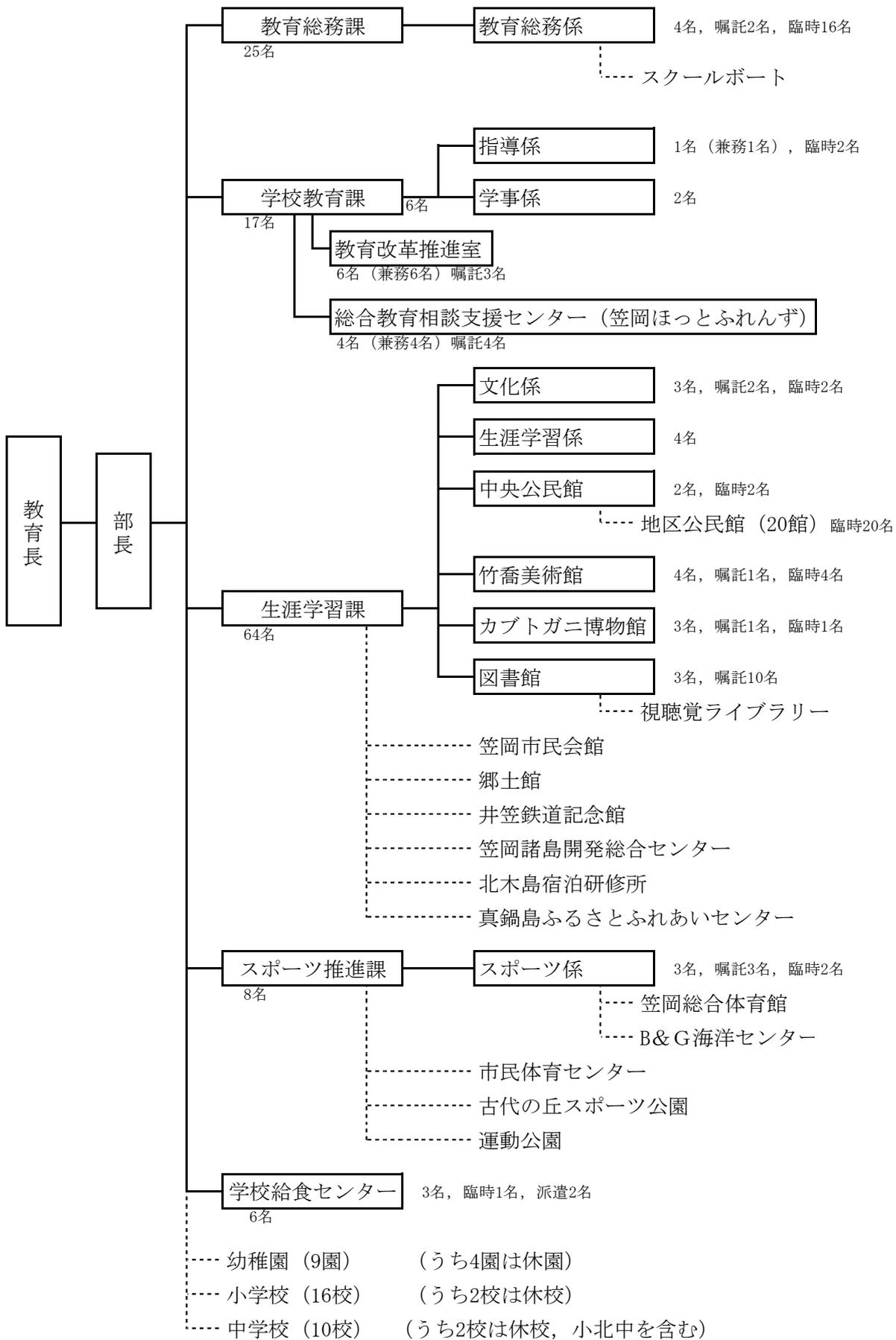
(単位：千円)

区 分	事務・事業名	決算額	備 考
教育費 2,784,960	スクールボート運営管理事業	15,180	高島, 白石島, 北木島, 飛島, 六島の児童・生徒の通学
	スクールボート改修事業	15,994	運航20年を迎えるスクールボート「きぼう」の長寿命化のため、エンジンの主機の改修(オーバーホール等)を実施した。
	旧今井小学校利活用事業	1,173	旧今井小学校の利活用にあたり、利用者が安心・安全に施設を利用できるよう、屋上防水工事や職員室入口の建具等の修繕工事を行った。
	一貫教育推進事業	6,928	説明会の実施 小中一貫教育カリキュラム運用 (国・算(数)・社・理・英・音・体・家・美) 小中一貫教育推進だよりの発行(4回) 笠岡市の小中一貫教育リーフレット増刷 小中一貫教育研修会の開催 講師：木原俊行先生(大阪教育大学大学院 教授)
	学校運営協議会事業	995	中学校ブロックでの学校運営協議会の開催により保護者及び地域住民等の学校運営への参画や支援の促進を図った。
	こども教育振興基金積立金	300,700	令和4年度に受領した寄附金280,000千円と、令和5年度に受領した寄附金20,700千円を「笠岡市こども教育振興基金」に積み立てた。
	教育活動支援事業	46,483	小・中学校, 幼稚園へ非常勤支援員50名を配置
	いじめ・不登校対策総合推進事業	14,531	不登校対策支援事業(6名配置) 巡回カウンセラー等配置事業(5名配置)教育相談室 特別カウンセラー等配置事業(1名配置)教育相談室 非常勤支援員(1名配置)教育相談室 特別支援教育指導員1名(学校教育課に配置)
	ひろがる未来応援事業	2,450	中学校ブロック・幼・小・中学校(園)からの提案による交流活動, 地域探求活動, 体験活動等の小中一貫教育や連携教育に関する活動, 学校が主体的に取り組む教育活動を行った。
	中学生学力向上に向けた検定チャレンジ	704	漢検・英検・数検の受検料を各1回補助することで, 自主的・積極的に学習に取り組む力を身につけ, 学習意欲の向上を図る
	人権学習充実拠点校事業	247	道徳教育を通じた人権学習を充実させるため, 教員向けの研修等を行った。 実施回数 5回
	小学生英語交流事業	1,165	笠岡市内の小学5・6年児童を対象に, 3回の英語デイキャンプ・ハーフデイキャンプを実施した。 参加者 のべ41名
	小中一貫校整備検討委員会	193	金浦中学校ブロックでの小中一貫教育校整備にあたり, 学識経験者, 地域代表者, 学校関係者, 保護者代表者等で組織する検討委員会を開催し, 新校舎のより安全な建設場所や必要諸室, 教室配置等について, 協議・検討を行った。
	図書整備事業	6,705	小学校(4,072), 中学校(2,521), 幼稚園(112)
	教員業務アシスタント配置事業	31,004	教員が抱える事務作業等の負担を軽減するため配置(15名) 笠岡小, 中央小, 金浦小, 城見小, 大井小, 北川小, 大島小, 神内小, 笠岡東中, 笠岡西中, 金浦中 (兼務) 陶山小, 新山小, 神島外小, 大島中, 神島外中, 新吉中, 小北中
	スクールバス運行事業	21,447	笠岡小, 大島小, 吉田小及び北木小の児童の通学
	通学バス安全装置設置事業	469	スクールバスに児童の置き去り防止のための安全装置を設置した。
	営繕関係	30,711	金浦小職員室空調改修工事, 大島小1階2階女子トイレ改修工事, 笠岡西中学校長室空調改修工事, 神島外中職員室空調改修工事ほか
	学校照明設備LED化事業	1,808	校舎等の照明設備のLED化を行った。 【実施校】笠岡小, 中央小, 大島小, 笠岡東中, 大島中
	教材備品整備事業	10,466	小学校(6,533), 中学校(3,933)
	校務用パソコン更新事業	6,545	校務用パソコンの整備・買替えを行った。
	学校教育活動継続支援事業	21,719	感染リスクを最小限にしながら円滑に教育活動を継続するため, 保健衛生用品の購入等を行った。
	小学校における不登校対策実践	4,362	児童に対する登校支援や保護者等への相談支援
理科観察実験アシスタント配置事業	3,614	笠岡小・中央小・金浦小・城見小・大井小・吉田小・北川小・大島小・神内小に理科支援員3名を配置	
主体的な学びの基盤づくり事業	860	小・中学校に, その日の授業に関連した補充学習等を非常勤講師や教員OB, 地域の識者等を指導者とし, 各学校の実態に応じて週1回, 各1時間程度実施	
小学校「かさおかホリデーチャレンジ学習支援」事業	492	希望小学校区において, 地域の指導者等を講師に, 月1回程度, 補充的・発展的な学習を実施	

区 分	事務・事業名	決算額	備 考
	学校 I C T 環境整備事業	1,415	整備された学習者用端末を自宅学習にも活用するため、フィルタリングの設定を行った。
	外国語指導助手配置事業	46,530	生きた英語を親しみやすく児童生徒に伝えるため外国語指導助手（ALT）を小・中学校に9名配置
	I C T 支援員配置事業	54,879	小・中学校等に学校 I C T 支援員13名を配置し、月6回程度技術支援・校務支援・授業支援等の様々なサポートを実施
	JAF心のプロジェクト「夢の教室」	1,996	「夢先生」を迎え、実体験に基づく話やゲームを通して、フェアプレー精神や協力することの大切さ、夢を持つことの素晴らしさなどを学ぶ。
	A I 教材整備事業	5,752	整備された学習者用端末を効果的に活用できるA I 教材を導入した。併せて小・中学校各2校において学力調査を実施し有効的な活用と効果について検証した。
	小・中学校指導者用デジタル教科書整備事業	8,670	全小学校において、令和2年度改訂の国語、算数、理科、社会、外国語の教科書に準拠した指導者用デジタル教科書を整備 全中学校において、令和3年度改訂の国語、数学、理科、社会、英語の教科書に準拠した指導者用デジタル教科書を整備
	授業改善・学力向上のためのデジタル教材等整備事業	570	クラウド上で活用できるドリル教材を整備し、運用。より効果的活用を図るために、I C T 支援員による活用促進を図った
	校務支援システム活用事業	12,751	児童生徒の出席欠席、成績処理等が全小・中学校で運用となり、情報の共有化および校務の簡素化が図られた
	新学習指導要領に対応した I C T 環境整備事業	44,698	市内小・中学校において、新学習指導要領に対応した授業を実施するため、学習者用パソコン（3クラスあたりに40台セット）と授業支援システム、無線LAN環境を整備
	特別支援学級における児童生徒用タブレットパソコン整備事業	1,911	特別支援学級にタブレットパソコンや視覚的な支援の充実を図るために大型モニターを導入し、個別学習や支援を行った。
	小中一貫教育の推進に向けた推進員配置事業	15,794	英語・理科・社会の教員免許を持つ非常勤講師を6名配置し、乗り入れ授業を行った
	小中一貫教育コーディネーター配置事業	4,834	中学校ブロックに小・中学校を兼務し、コーディネーター役を担う教員を1名配置した。
	部活動指導員配置事業	2,796	教員の勤務負担軽減と部活動の活性化を図るため、市内5中学校へ11名の部活動指導員を配置した。（笠岡東中：バレー部、柔道部 笠岡西中：美術部、技術部、卓球部 金浦中：吹奏楽部 新吉中：吹奏楽部、ソフトテニス部 大島中：卓球部、ソフトテニス部）
	人権教育自立促進事業	472	教育上配慮を必要とする児童・生徒の自立を支援
	教育相談事業	15,595	児童生徒及びその保護者等に対して相談、助言及び援助を実施 教育相談員4名
	特別支援教育就学奨励事業	2,858	小学校学用品等566、中学校学用品等632、給食費1,660
	要保護及び準要保護児童生徒援助費補助事業	44,005	小学校学用品等8,112、中学校学用品等11,395 給食費24,498
	離島留学応援事業	6,380	市内の相談室へ入室している児童生徒を対象に、飛島相談室の開設に向けて準備を行った。また、神島外中学校に「離島留学」の子どもが通うことができる体制を整えた。
	施設型給付費	135,685	子ども・子育て支援新制度へ移行した私立幼稚園等へ施設型給付費を支給した。
	幼稚園一時預かり保育事業	12,886	笠岡幼、金浦幼、大井幼、尾坂幼・北木西幼で、一時的に教育時間外に保育を実施した。
	生涯学習事業	1,631	生涯学習フェスティバル、諸学級事業 たくましい笠岡っ子（年2回）参加者数30人 スピーチコンテスト、「明るい家庭づくり」作文
	奨学金給与事業	1,492	公益財団法人坂本音一育英会（被交付者 高校生7人、大学生1人） 藤井育英会（被交付者 高校生8人）
	成人式	801	開催日 令和6年1月7日（日） 参加者数289人 市内参加率 69.2%
	放課後子ども教室	558	市内4箇所において、地域住民の参画により子どもたちが放課後を安全・安心に過ごし、多様な体験活動等を行った
	土曜日教育支援	471	市内9箇所において、地域住民の参画により子どもたちが土曜日等を安全・安心に過ごし、多様な体験活動等を行った
	地域学校協働本部事業	1,983	市内14地区（6中学校区、14小学校区）において、地域住民の参画により学校教育の支援活動を行った
	文化振興事業	909	さつき・新緑展、名月観賞の夕べ、菊花展、文化祭、芸能祭、美術展、児童・生徒美術展（延べ来場者数 7,545人）

区 分	事務・事業名	決算額	備 考
	文化賞揚事業	79	全国・中国大会等に出場する選手に賞揚金を贈呈し、選手を激励する。 (公益財団法人笠岡市文化・スポーツ振興財団共催事業)
	木山捷平文学選奨	2,328	第19回木山捷平文学選奨 短編小説(全国公募), 随筆・詩・短歌・俳句・川柳
	白石踊後継者育成事業	1,900	白石踊後継者育成事業の委託(委託先 白石踊会) 定期練習会14回, 出前講座2回, 鑑賞体験ツアー1回, イベント出演3回
	井笠鉄道記念館管理事業	1,504	井笠鉄道記念館管理・運営 年間入館者数3,180人 管理業務の委託, 機械警備, 屋外展示物修繕等
	文化財保護事業補助金	5,229	市指定文化財への補助金支出 菅原神社本殿保存修理事業(市指定重要文化財) 八幡神社石灯籠修理事業(市指定重要無形民俗文化財)
	北木島宿泊研修事業	5,602	北木島宿泊研修所の管理運営を指定管理によって運営し, 島ならではの宿泊体験学習を提供。 延べ利用者数979人(市内408人, 市外571人)
	笠岡子どもフェスティバル	930	各種団体やサークルなどによる遊び, 体験ブース, 見学コーナー 学生や市民などがボランティアとして参加。 開催日 令和5年4月29日 来場者数 約1,700人
	青少年育成地区活動推進事業	864	各地区において青少年健全育成に取り組む団体に対し補助金を交付し, 活動を支援(市内各地区青少協11団体)
	公民館運営事業	100,753	最も身近な生涯学習の拠点として, 場所と機会の提供を行った。 各種講座の開催 ・講座数 中央公民館 45講座 地区公民館 309講座 ・受講者数 中央公民館 延べ 9,362人 地区公民館 延べ 60,311人
	公民館活動助成事業	5,762	地区公民館20館 108事業
	公民館施設整備事業	3,305	地区公民館Wi-Fi設置工事(笠岡東・金浦・城見・陶山・大井・新山・神島外) 水銀灯取替工事(神島外) エアコン改修工事(白石)
	市民会館運営事業	120,285	一般財団法人笠岡市総合福祉事業団吸江社へ管理運営及び市民会館を利用した自主講座や文化芸術鑑賞に係る事業を委託 【施設整備関係】 ・市民会館ホール棟屋上防水・外壁改修工事(R4からの繰越) ・市民会館空調設備改修工事 ・市民会館旧管理人室和室テラスサッシ改修工事
	図書館運営事業	87,911	来館者数81,852人 貸出冊数244,397冊 蔵書数193,229冊(一般書129,498冊, 児童書63,731冊) カウンター業務, ブックスタート事業, 巡回文庫業務等の実施 「笠岡子ども司書」養成講座 講座5回, 参加人数10名 紙芝居とおはなしの会 20回, 延べ参加人数331人 あかちゃんといっしょのおはなしかい 5回, 延べ参加者数56人 子ども映画会 12回, 延べ参加人数177人 本のリサイクル会(1回) 参加人数159人, 8団体 配布数2,162冊 講演会「窪田次郎と備中」 参加人数30人 その他の行事 51回 参加人数811人
	読書バリアフリー備品整備事業	511	読書に支障のある人が読書できる環境を整備するため, 拡大読書器・デジ ジー図書再生機を導入した。コミュニティ事業助成金。
	旧今井小学校利活用事業	574	旧今井小学校の利活用のため, 市立図書館が所蔵する図書の一部を移転した。
	移動図書館車更新事業	19,440	移動図書館車(かぶとがに号)をバリアフリー等を考慮した車に更新した。
	カプトガニ博物館運営事業	73,434	カプトガニ保護対策事業, 大量飼育事業, 特別展示, 特別陳列 施設改修工事 入館者数59,386人 特別展示「磯のいきもの@笠岡」展 特別陳列「IRON FOSSILS」展 飼育設備非常用発電機設置工事, 恐竜模型修繕など
	郷土館運営事業	526	年間入館者数726人 企画展「真鍋島歴史展」

区 分	事務・事業名	決算額	備 考
	竹喬美術館運営事業	6,531	竹喬美術館展覧会事業 来館者数5,882人 特別陳列「開館40周年記念 歌を楽しむ 清水比庵」 特別展「三重県立美術館所蔵 近代日本画名品展」 テーマ展「生れる絵画－スケッチから下絵, 習作, 本画へ」 テーマ展「国画創作協会の画家たち」
	竹喬美術館施設整備事業	31,295	竹喬美術館空調熱源機器更新工事
		5,797	竹喬美術館監視カメラ更新工事
		1,676	竹喬美術館照明のLED化事業
	真鍋島ふるさとふれあいセンター運営事業	1,363	交流学習・文化活動等を行う場を提供
	笠岡諸島開発総合センター運営事業	2,737	交流学習・文化活動等を行う場を提供
	スポーツライフ推進事業	2,378	スポーツ教室, ニュースポーツ大会, スポーツ推進委員派遣等
	スポーツ振興事業	9,988	カブトガニ駅伝大会, べいふぁーむ笠岡マラソン大会開催等
	スポーツ賞揚事業	1,675	世界・全国大会等に出場する選手を激励し賞揚金を贈呈する
	体育施設管理事業	50,670	体育施設管理運営委託料 (43,128) 施設予約管理システム運用委託料 (1,253) 体育施設管理一般事務経費 (369) スポーツ施設LED照明機器借上料 (5,920)
	体育施設改修事業	25,498	総合体育館エントランス屋上防水改修工事
	海洋センター管理運営事業	9,922	島しょ部のスポーツ施設の管理運営
	総合スポーツ公園体育施設管理運営事業	51,641	笠岡総合体育館, 笠岡陸上競技場, 多目的広場の管理運営
	学校給食事業	374,992	小学校14校, 中学校8校 (小北中含む), 幼稚園5園



※幼稚園に係る業務は就学前教育の一元化により、こども部こども育成課が所管しています。